
**豊明市障がい福祉計画策定のためのアンケート
結果報告書**

平成 30 年 3 月

豊 明 市

目 次

1	調査の概要.....	1
	（1）調査の目的	2
	（2）調査の概要	2
	（3）報告書の見方	2
2	障がい児者アンケート調査結果.....	3
	（1）性別や年齢、ご家族などについて	4
	（2）障がいの状況について	8
	（3）住まいや暮らしについて	14
	（4）昼間の過ごし方や仕事について	20
	（5）権利擁護について	27
	（6）障がいへの理解、地域共生社会について	28
	（7）相談相手・情報の入手について	31
	（8）障害福祉サービス等の利用について	35
	（9）子どもの療育・教育について	39
3	一般市民アンケート調査結果.....	45
	（1）あなた自身のことについて	46
	（2）障がいのある方への理解や配慮について	50
	（3）障がい者の権利を守る制度について	56

1 調査の概要

(1) 調査の目的

このアンケートは、豊明市障がい者計画の策定にあたり、各種施策の基礎資料として活用することを目的として実施しました。

(2) 調査の概要

■調査に関する事項

区分	内容
調査票の配布・回収方法	郵送配布・郵送回収
調査基準日	平成 29 年 8 月 1 日
調査期間	平成 29 年〇月〇日～〇月〇日

■配布・回収に関する事項

区分	配布数	回収数	回収率
障がい児者アンケート	1,672	822	49.2%
一般市民アンケート	1,000	343	34.3%

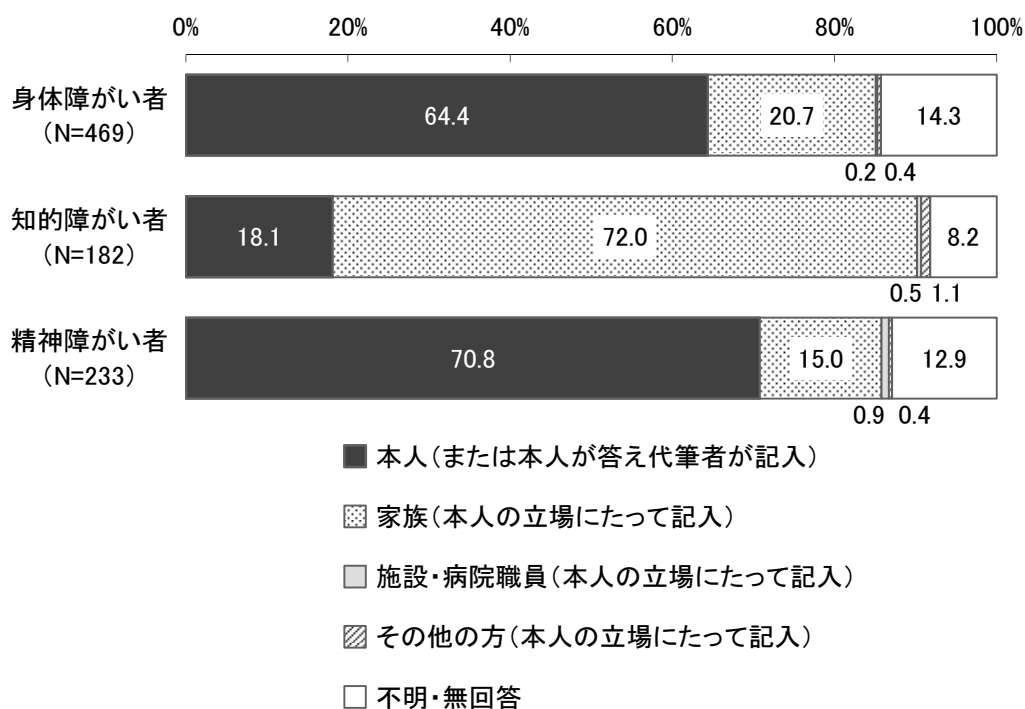
(3) 報告書の見方

- 図表中の「N数 (number of case)」は集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を示しています。
- グラフ中の「%」は、小数第2位を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても合計が 100.0%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（いくつでも○をつけるものなど）は「N」に対する各選択肢の回答者数の割合を示しています。
- 図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載しています。
- 調査結果を図表で表示していますが、グラフ以外のクロス集計の表は、「不明・無回答」「その他」を除いて高い割合の第1位と第2位のものに網掛けをしています。（第1位：**濃い網掛けに白数字**、第2位：**薄い網掛けに黒数字**）ただし、N数が1桁のものは網掛けをしていません。

2 障がい児者アンケート調査結果

問1 お答えいただくのは、どなたですか。(○は1つだけ)

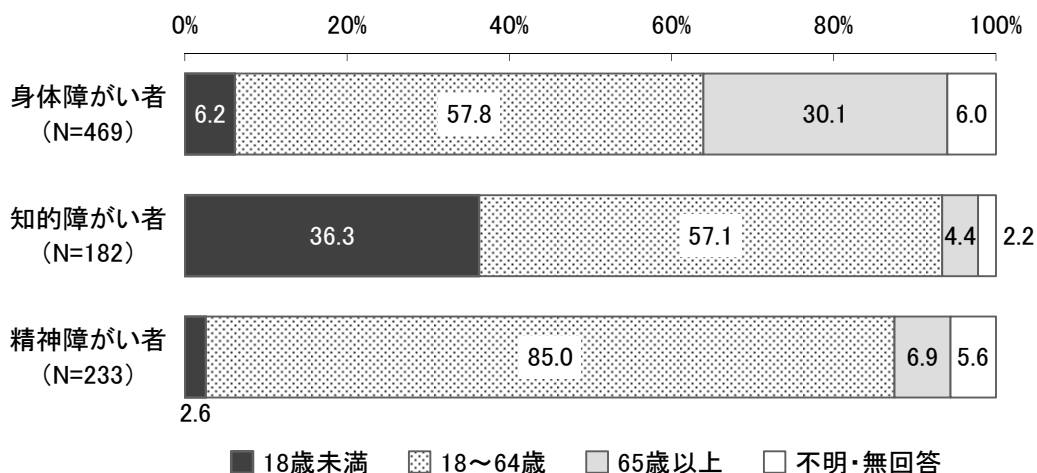
回答者は、身体障がい及び精神障がい「本人（または本人が答え代筆者が記入）」がそれぞれ 64.4%、70.8%、知的障がい「家族（本人の立場にたって記入）」が 72.0%と、それぞれ最も高くなっています。



(1) 性別や年齢、ご家族などについて

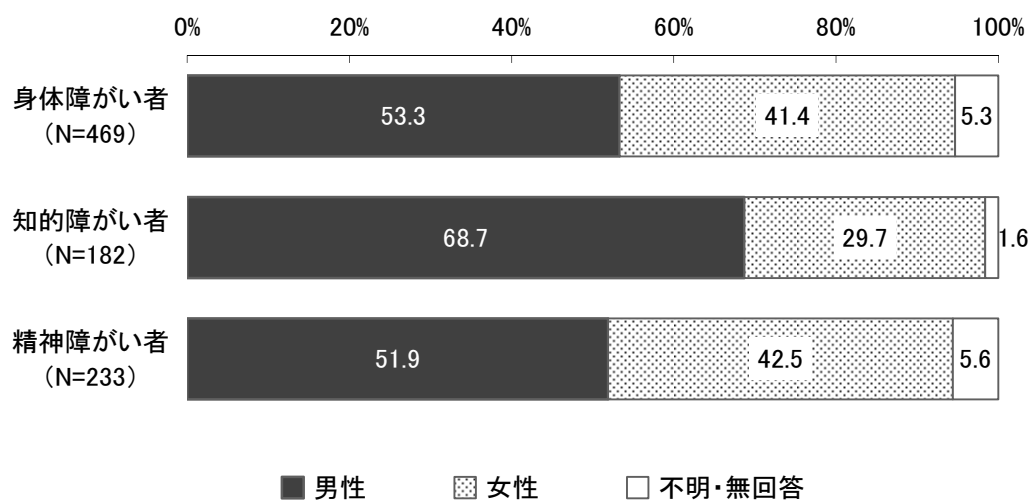
問2 あなたの平成 29 年8月1日現在の年齢をお答えください。(数字を記入)

年齢は、身体障がい、知的障がい及び精神障がい「18～64 歳」が 57.8%、57.1%、85.0%と、それぞれ最も高くなっています。



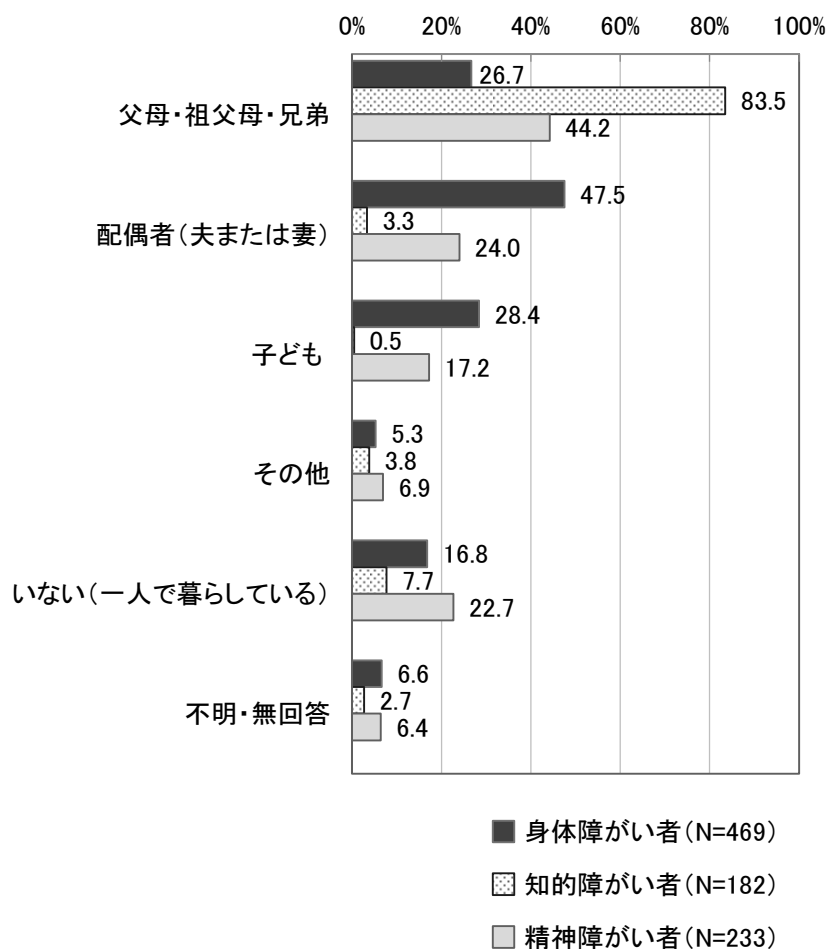
問3 あなたの性別を教えてください。(○は1つだけ)

性別は、身体障がい、知的障がい及び精神障がいいで「男性」が53.3%、68.7%、51.9%と、それぞれ最も高くなっています。



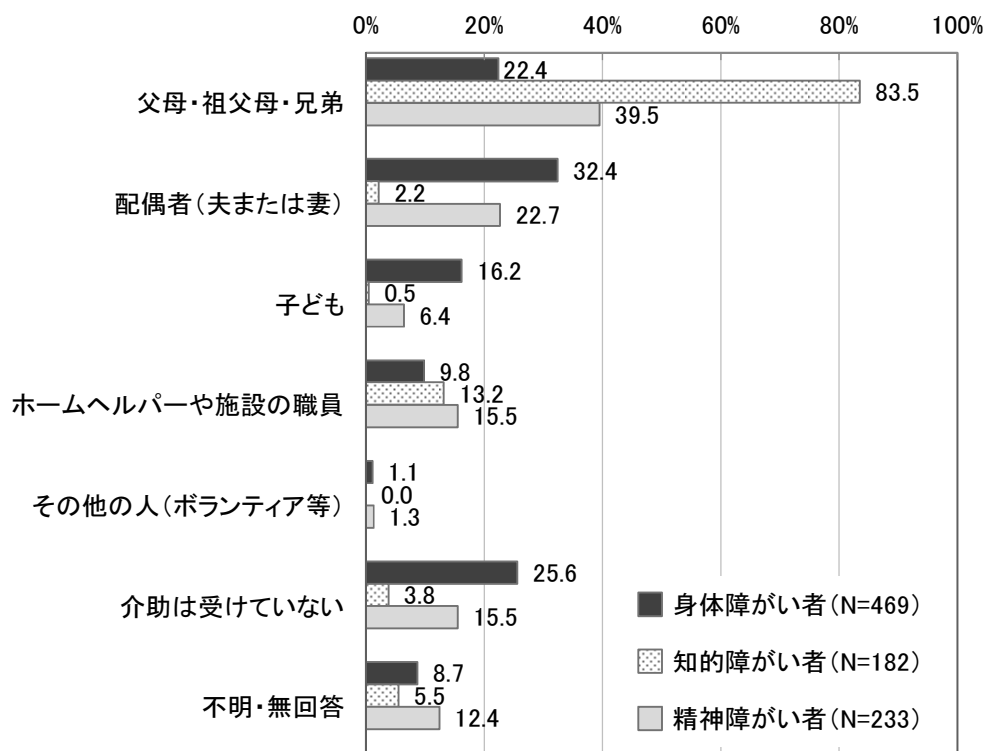
問4 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

一緒に暮らしている人は、身体障がいいで「配偶者（夫または妻）」が47.5%、知的障がい及び精神障がいいで「父母・祖父母・兄弟」が83.5%、44.2%と、それぞれ最も高くなっています。



問5 あなたの生活を助けてくれる方(介助者)は主に誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

生活を助けてくれる方(介助者)は、身体障がい者で「配偶者(夫または妻)」が32.4%、知的障がい及び精神障がい者で「父母・祖父母・兄弟」が83.5%、39.5%と、それぞれ最も高くなっています。

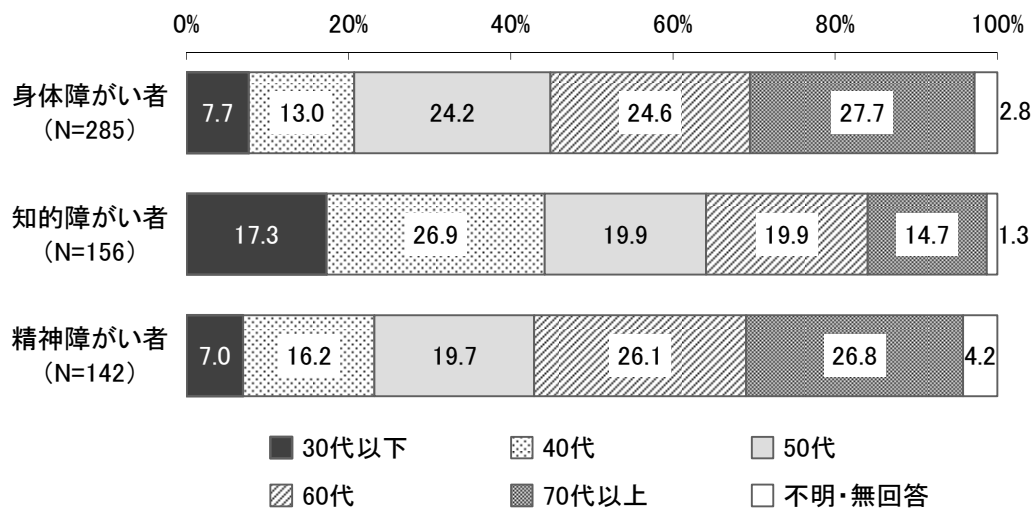


(問5で1～3を答えた方)

問6 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

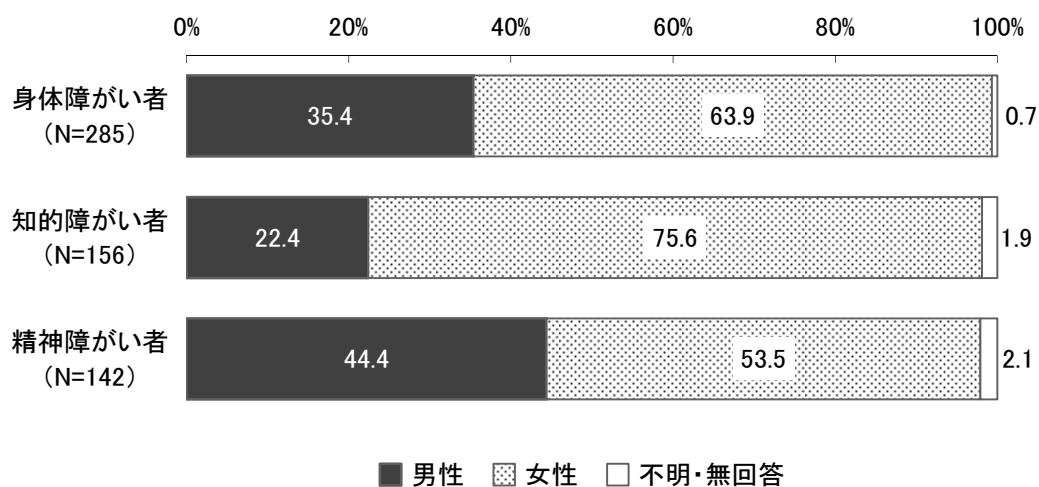
① 年齢(平成29年8月1日現在)

介助してくれる家族について、年齢は、身体障がい者及び精神障がい者で「70代以上」がそれぞれ27.7%、26.8%、知的障がい者で「40代」が26.9%と、それぞれ最も高くなっています。



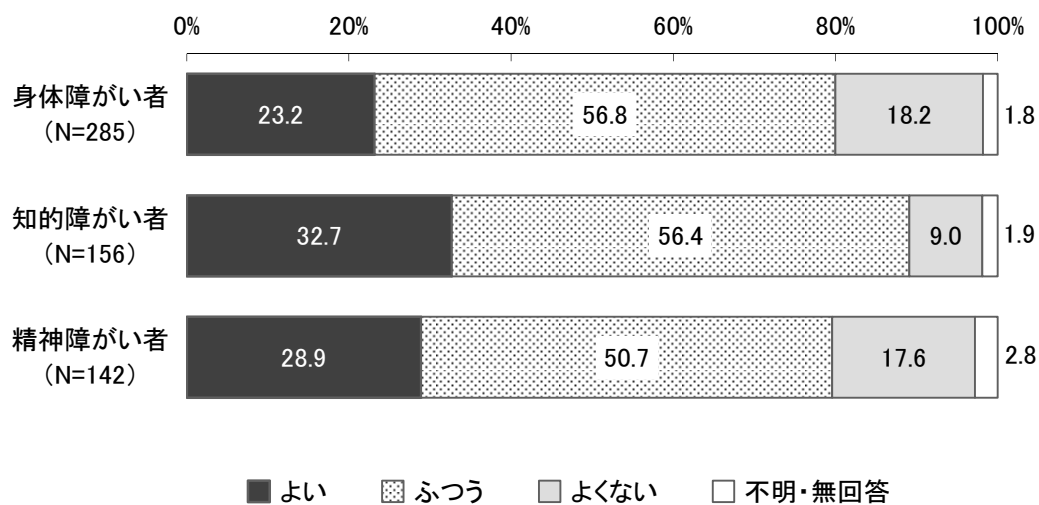
② 性別

介助してくれる家族について、性別は、身体障がい、知的障がい及び精神障がいで「女性」が63.9%、75.6%、53.5%と、それぞれ最も高くなっています。



③ 健康状態

介助してくれる家族について、健康状態は、身体障がい、知的障がい及び精神障がいで「ふつう」が56.8%、56.4%、50.7%と、それぞれ最も高くなっています。

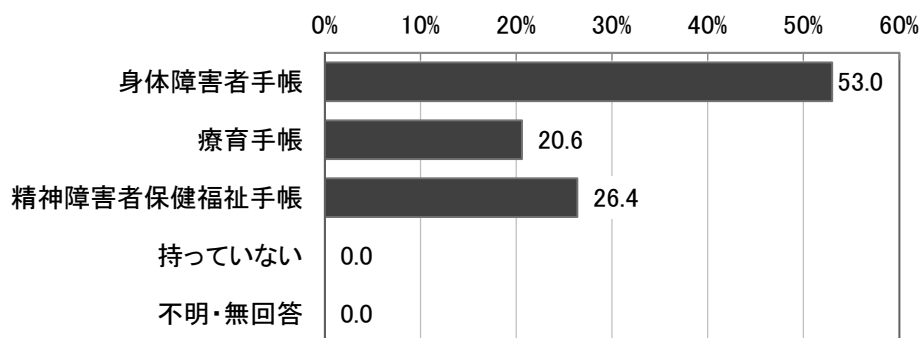


(2)障がいの状況について

問7 あなたは、次の手帳をお持ちですか。お持ちの場合はその内容についてお答えください。

① お持ちの手帳(あてはまるものすべてに○)

お持ちの手帳は、「身体障害者手帳」が 53.0%、「療育手帳」が 20.6%、「精神障害者保健福祉手帳」が 26.4%となっています。



■ 全体 (N=884)

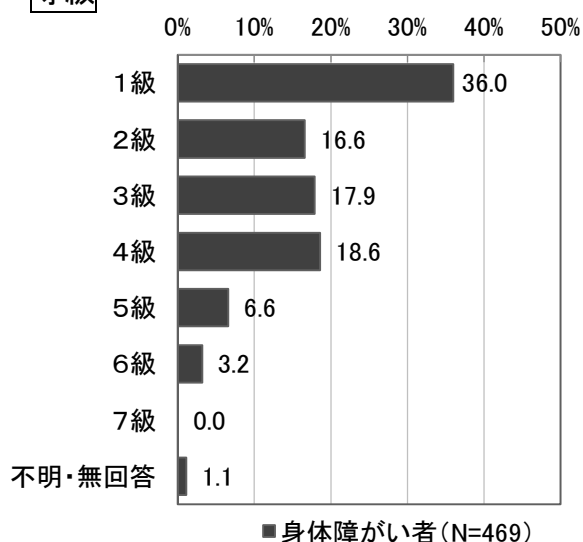
【身体障害者手帳所持者】

問7②-1 身体障害者手帳の等級(○は1つだけ)

問7③-1 どのような身体障がいがあるのか(あてはまるものすべてに○)

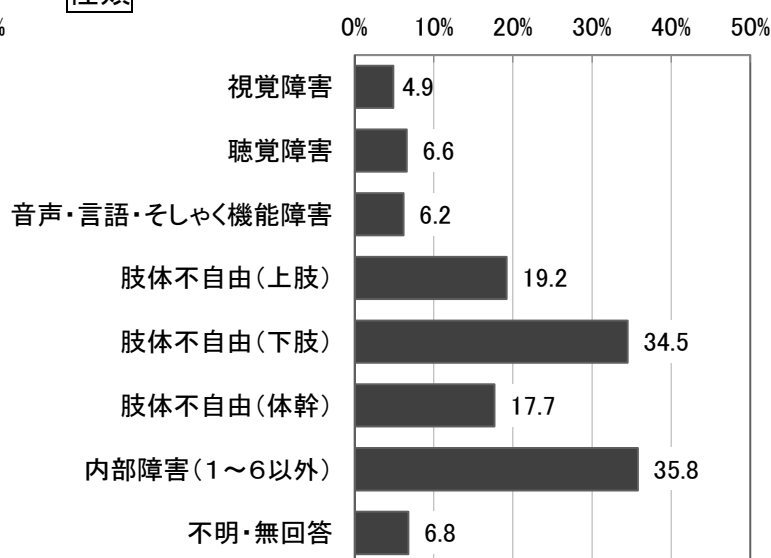
身体障害者手帳の等級は、「1級」が 36.0%と最も高く、次いで「4級」が 18.6%となっています。また、障がいの種類は、「内部障害(1～6以外)」が 35.8%と最も高く、次いで「肢体不自由(下肢)」が 34.5%となっています。

等級



■ 身体障がい者 (N=469)

種類

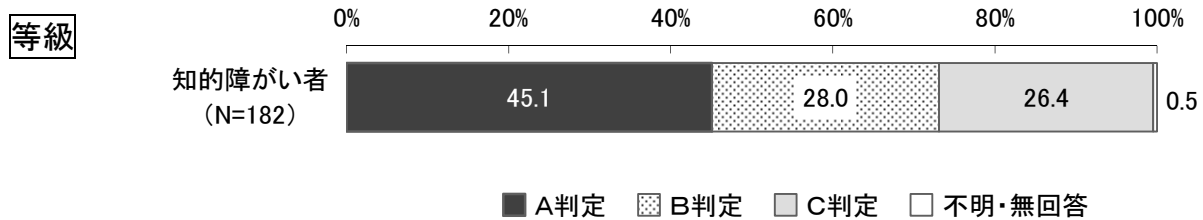


■ 身体障がい者 (N=469)

【療育手帳所持者】

問7②-2 療育手帳の等級(○は1つだけ)

療育手帳の等級は、「A判定」が45.1%と最も高く、次いで「B判定」が28.0%となっています。

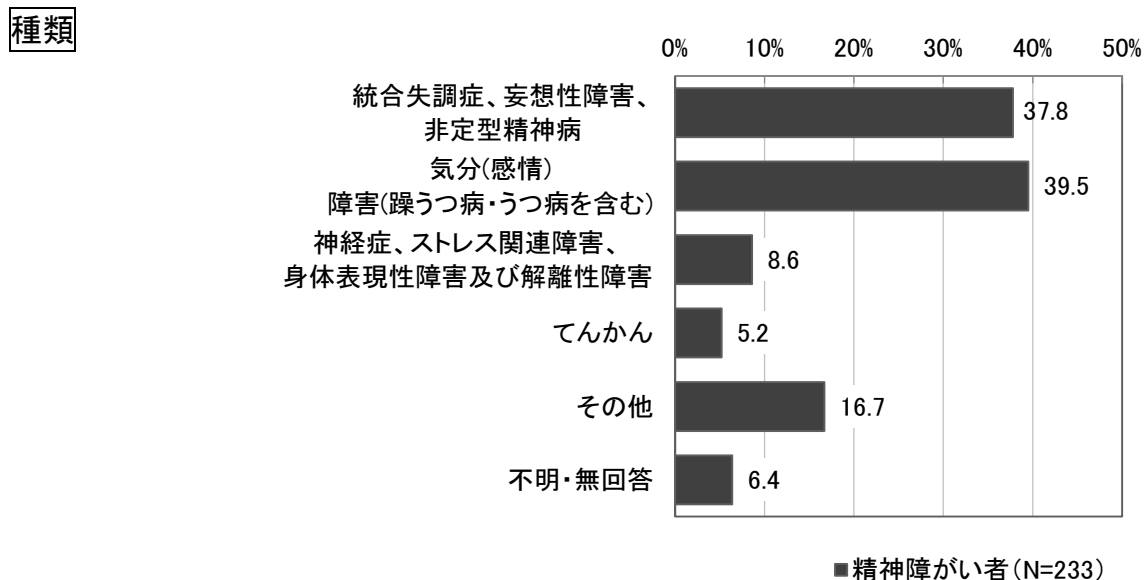
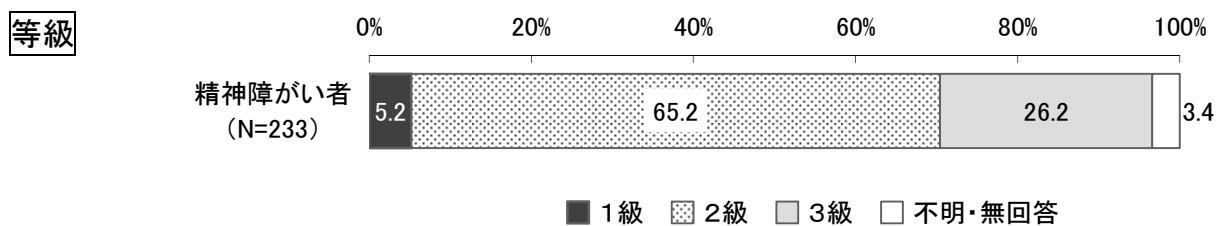


【精神障害者保健福祉手帳所持者】

問7②-3 精神障害者保健福祉手帳の等級(○は1つだけ)

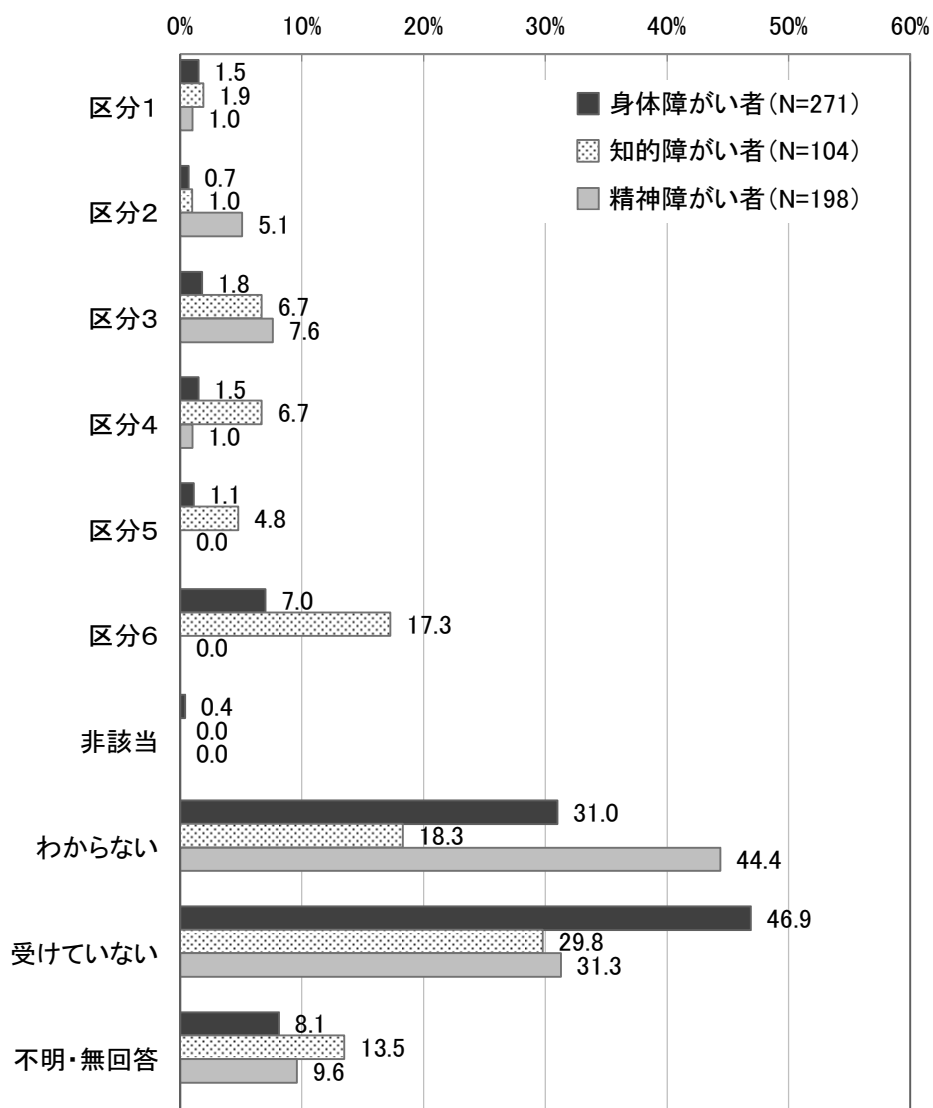
問7③-3 どのような精神障がいがあるのか(あてはまるものすべてに○)

精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級」が65.2%と最も高く、次いで「3級」が26.2%となっています。また、精神障がいの種類については、「気分(感情)障害(躁うつ病・うつ病を含む)」が39.5%と最も高く、次いで「統合失調症、妄想性障害、非定型精神病」が37.8%となっています。



問8 あなたは、障害福祉サービスを利用するための障害支援区分認定を受けていますか。(○は1つだけ)

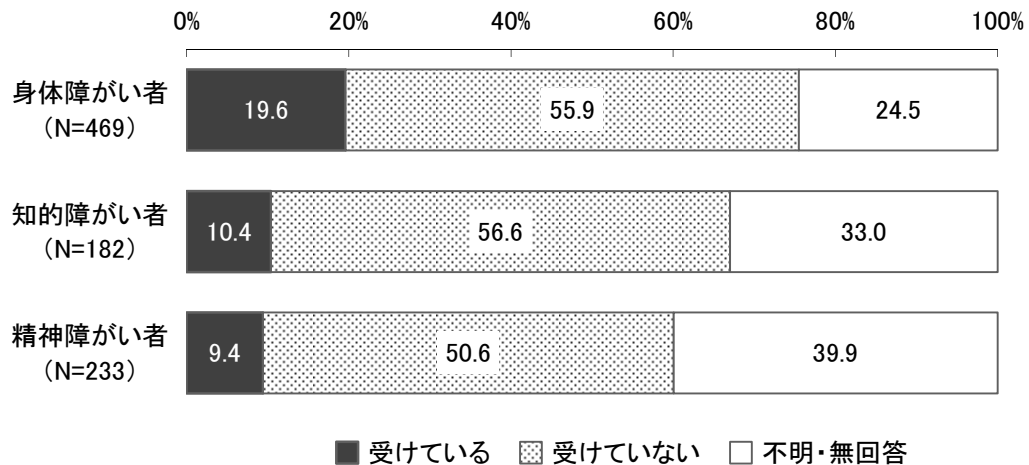
障害福祉サービスを利用するための障害支援区分認定は、身体障がい及び知的障がいで「受けていない」がそれぞれ46.9%、29.8%、精神障がいで「わからない」が44.4%と、それぞれ最も高くなっています。



**問9 あなたは、次の認定や診断を受けていますか。また、医療的ケアを必要としますか。
(それぞれ○は1つだけ)**

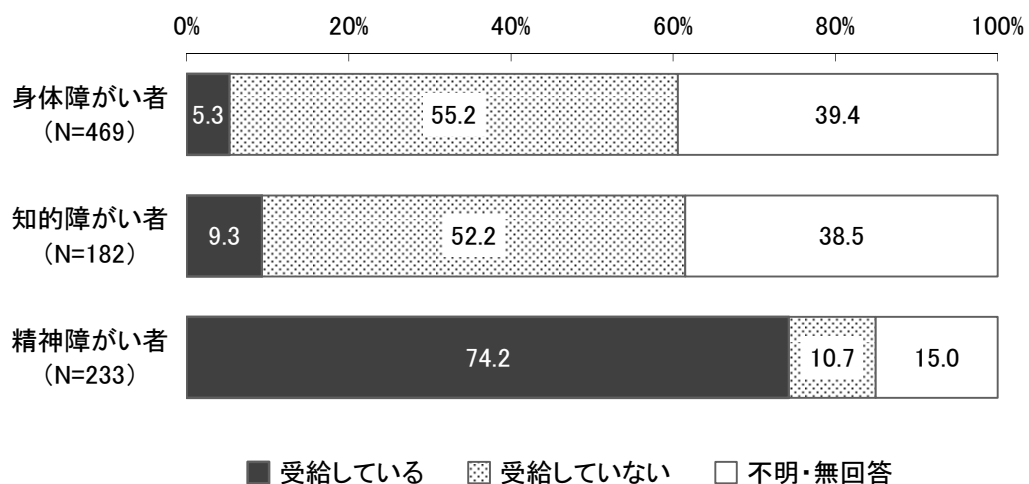
① 要支援・要介護認定

要支援・要介護認定は、身体障がい、知的障がい及び精神障がい「受けていない」が55.9%、56.6%、50.6%と、それぞれ最も高くなっています。



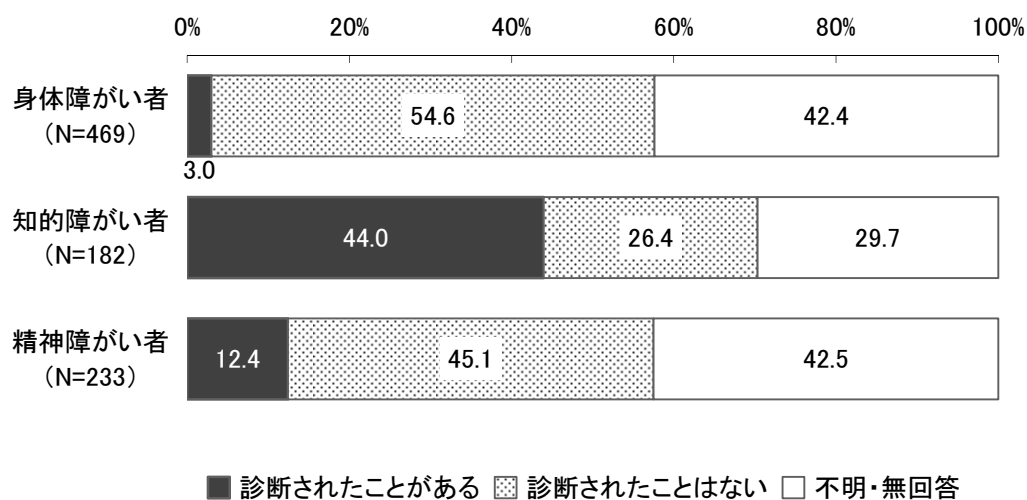
問9 ②精神通院医療

精神通院医療は、身体障がい及び知的障がい「受給していない」がそれぞれ55.2%、52.2%、精神障がい「受給している」が74.2%と、それぞれ最も高くなっています。



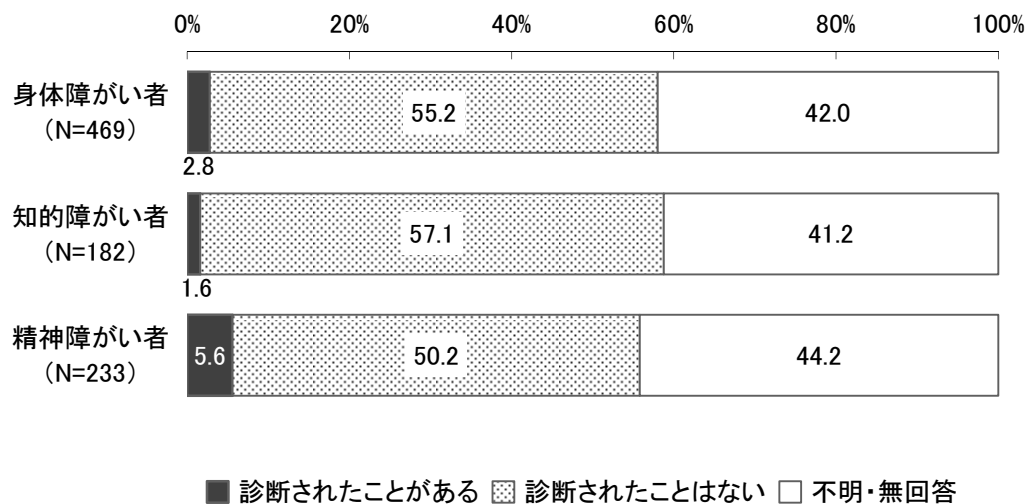
問9 ③発達障害

発達障害は、身体障がい及び精神障がい「診断されたことはない」が54.6%、45.1%、知的障がい「診断されたことがある」が44.0%と、それぞれ最も高くなっています。



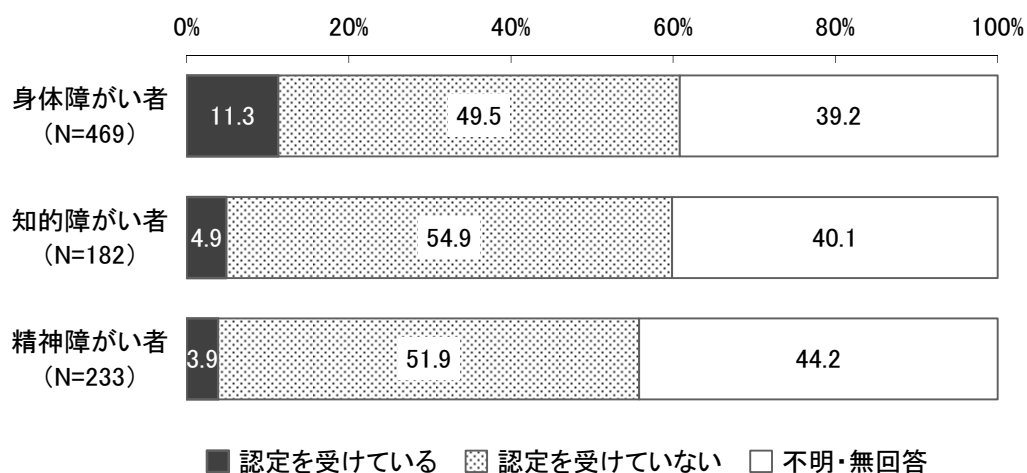
問9 ④高次脳機能障害

高次脳機能障害は、身体障がい、知的障がい及び精神障がい「診断されたことはない」が55.2%、57.1%、50.2%と、それぞれ最も高くなっています。



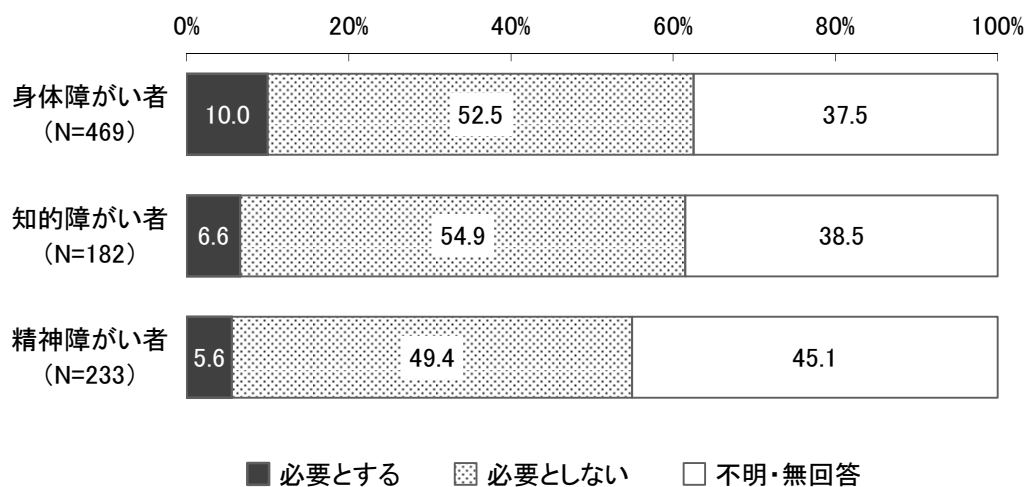
問9 ⑤難病(特定疾患)

難病(特定疾患)は、身体障がい、知的障がい及び精神障がいで「認定を受けていない」が49.5%、54.9%、51.9%と、それぞれ最も高くなっています。



問9 ⑥医療的ケア

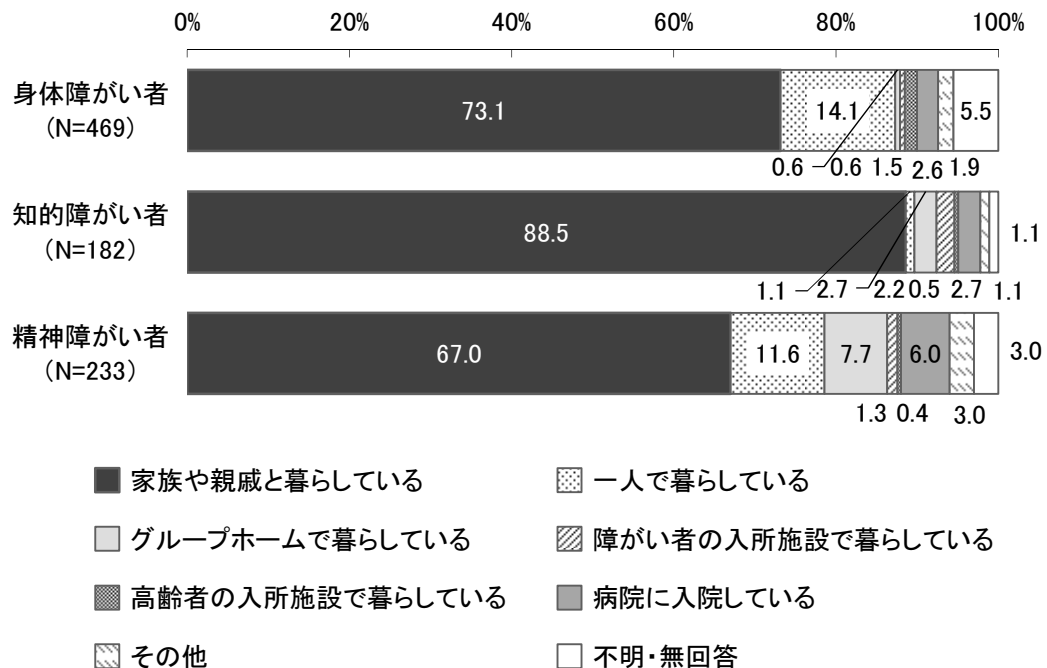
医療的ケアは、身体障がい、知的障がい及び精神障がいで「必要としない」が52.5%、54.9%、49.4%と、それぞれ最も高くなっています。



(3) 住まいや暮らしについて

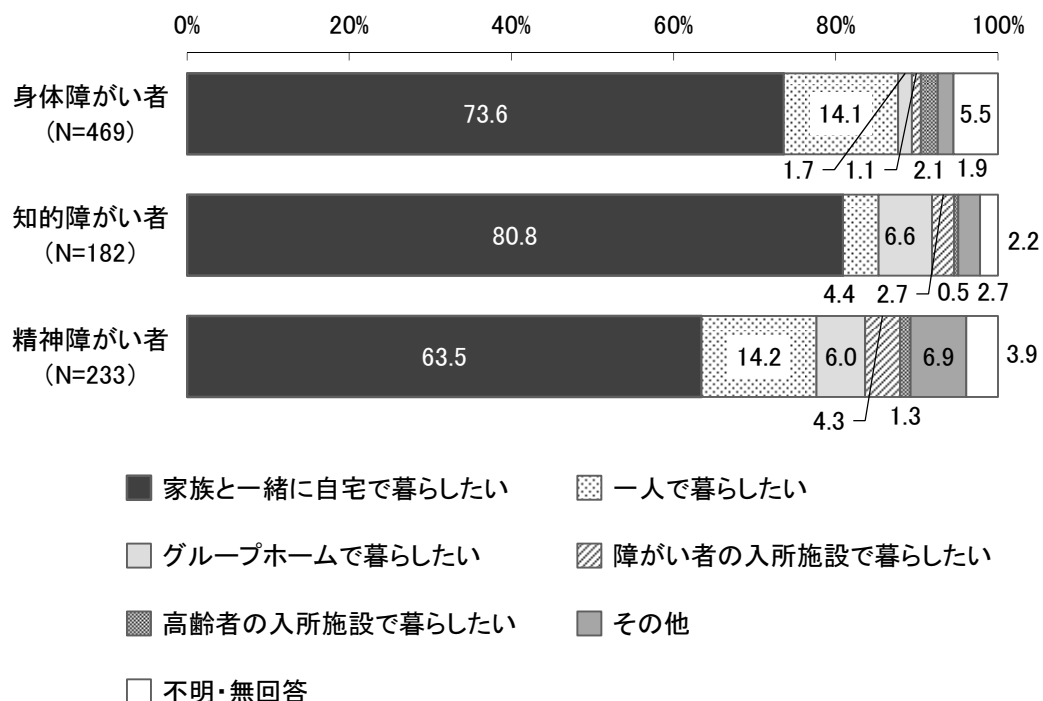
問 10 あなたは現在、どのように暮らしていますか。(〇は1つだけ)

暮らし方は、身体障がい、知的障がい及び精神障がい「家族や親戚と暮らしている」がそれぞれ73.1%、88.5%、67.0%と、それぞれ最も高くなっています。



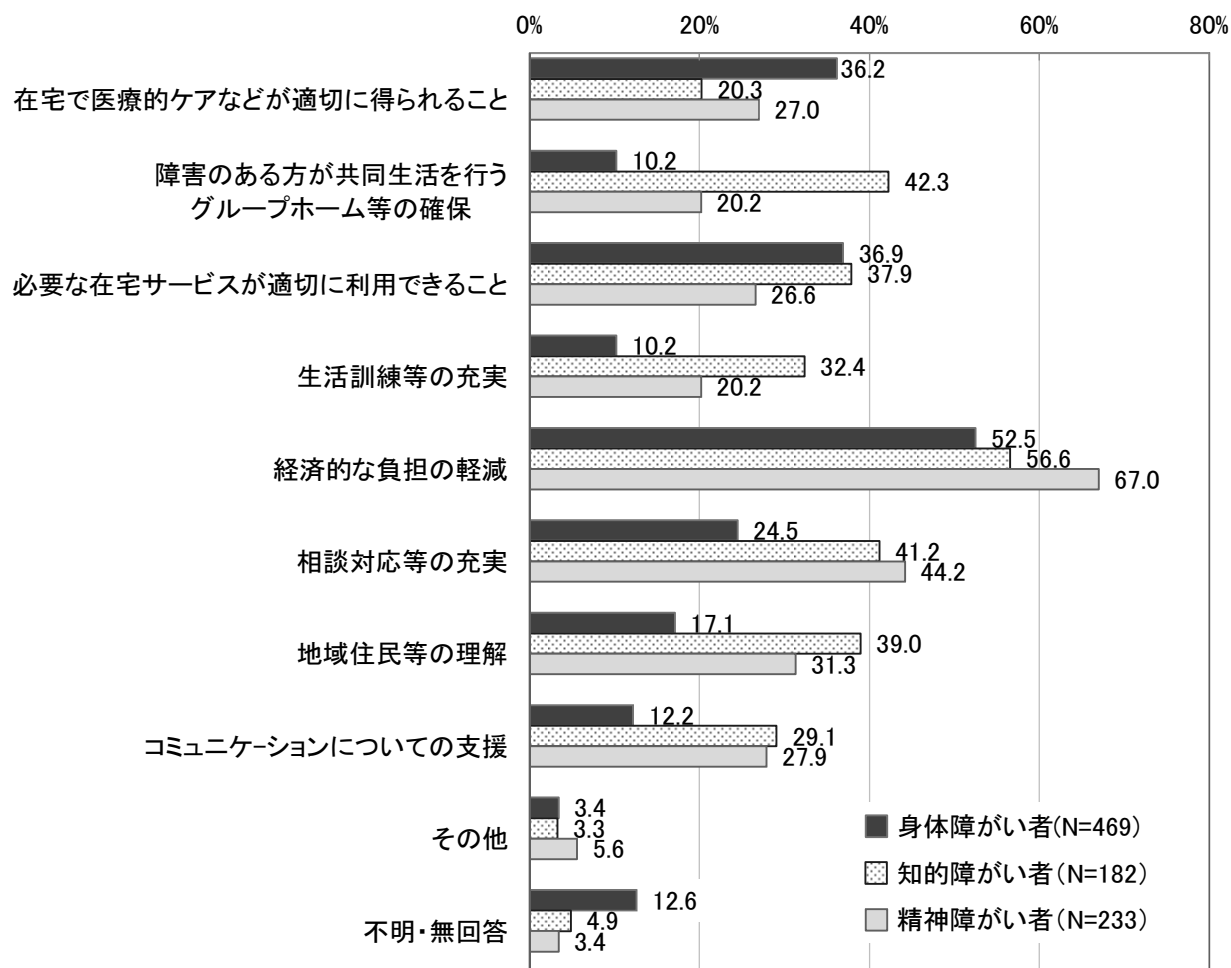
問 11 今後、5年以内で暮らしたいと思う場所はどれですか。(〇は1つだけ)※入院・入所中の方は退院・退所した後のことを答えてください。

今後、5年以内で暮らしたい場所は、身体障がい、知的障がい及び精神障がい「家族と一緒に自宅で暮らしたい」がそれぞれ73.6%、80.8%、63.5%と、それぞれ最も高くなっています。



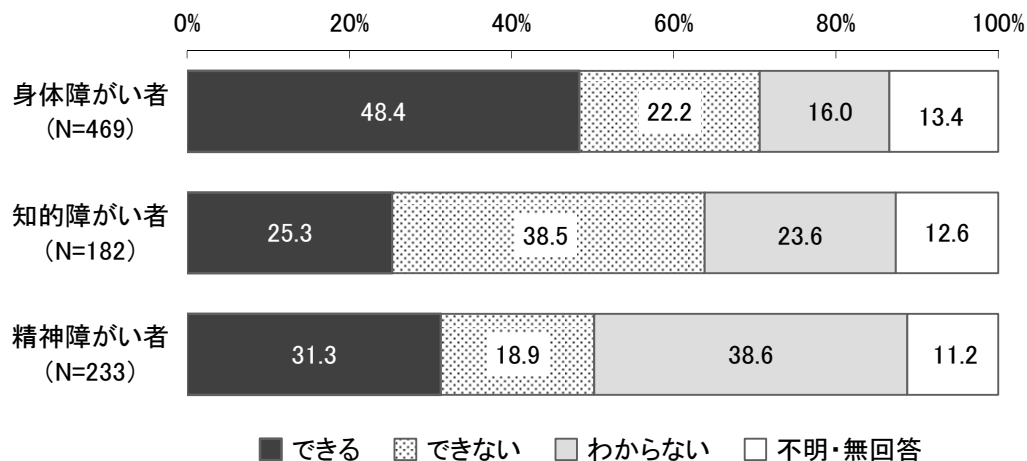
問 12 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

地域で生活するためにはどのような支援があればよいかは、身体障がい、知的障がい及び精神障がい
「経済的な負担の軽減」がそれぞれ 52.5%、56.6%、67.0.%と、それぞれ最も高くなっています。



問 13 あなたを介助してくれる家族が急に入院するなどで介助できなくなったとき(以下緊急時とします)に、今のお住まいで生活を続けていくことはできますか。(○は1つ)

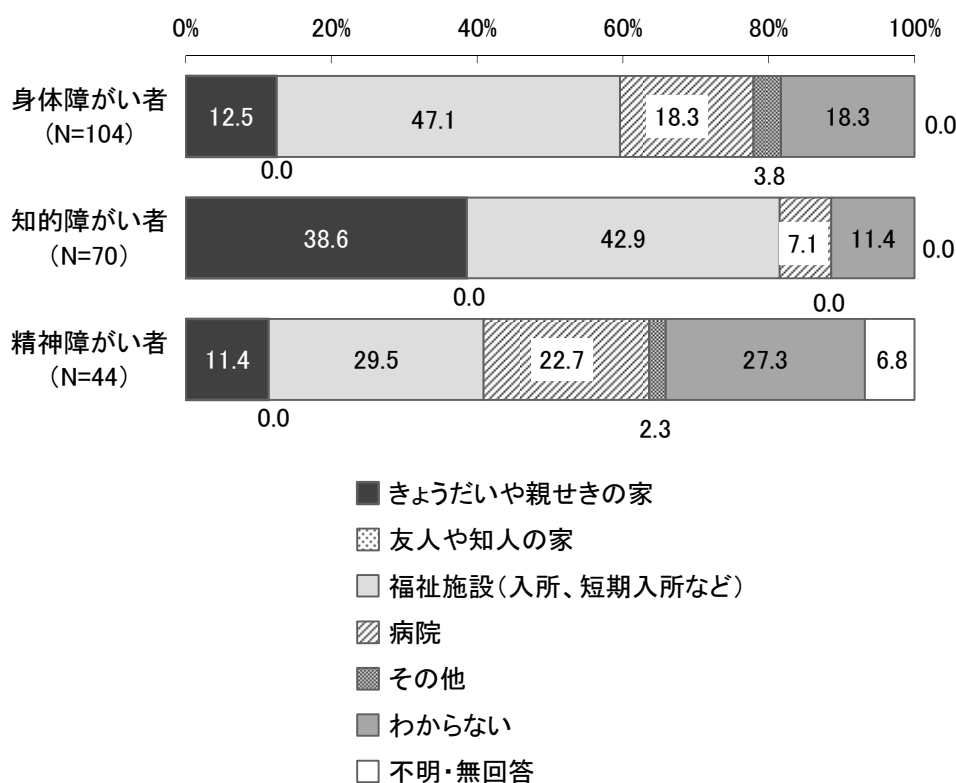
緊急時に今家で生活し続けられるかは、身体障がい者で「できる」が48.4%、知的障がい者で「できない」が38.5%、精神障がい者で「わからない」が38.6%と、それぞれ最も高くなっています。



【問 14 は、問 13 で「2 できない」を選択した方のみお答えください。】

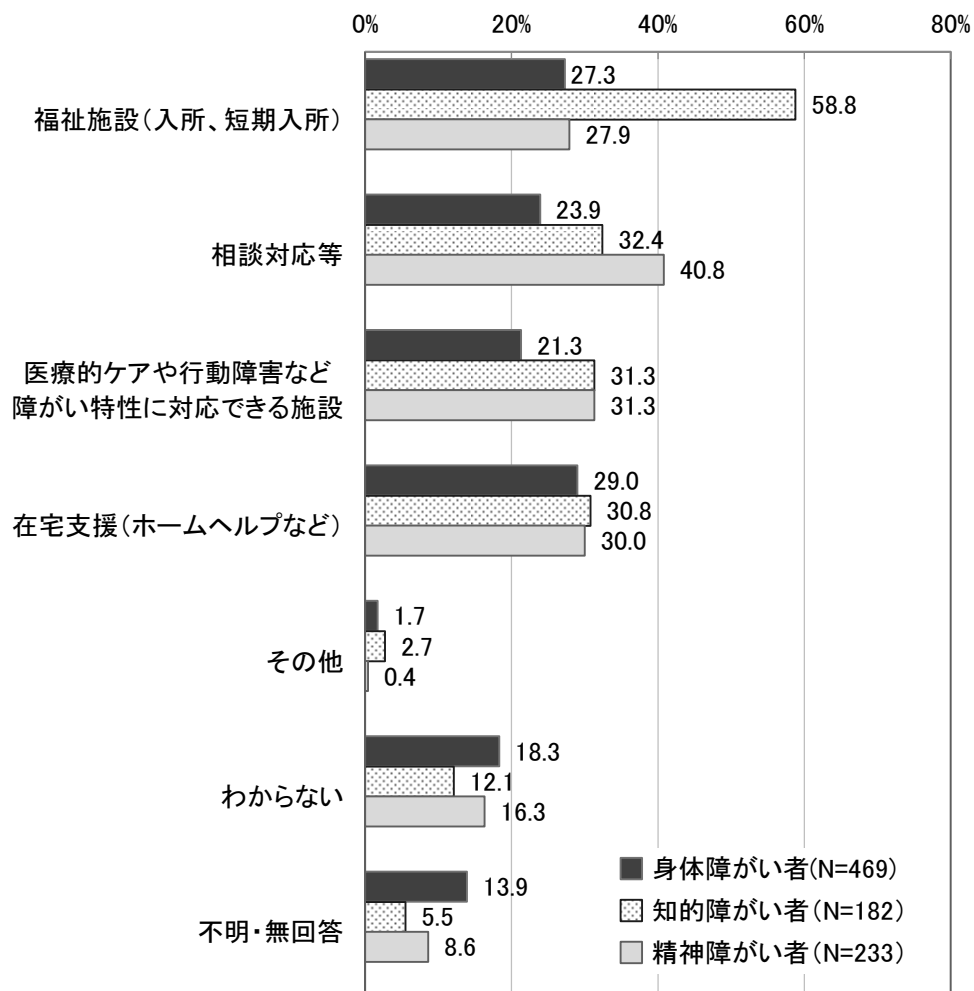
問 14 緊急時にはどこで生活することになると思いますか。(○は一つ)

緊急時どこで生活するかは、身体障がい者で「福祉施設(入所、短期入所など)」が47.1%、知的障がい者で「福祉施設(入所、短期入所など)」が42.9%、精神障がい者で「福祉施設(入所、短期入所など)」が29.5%と、それぞれ最も高くなっています。



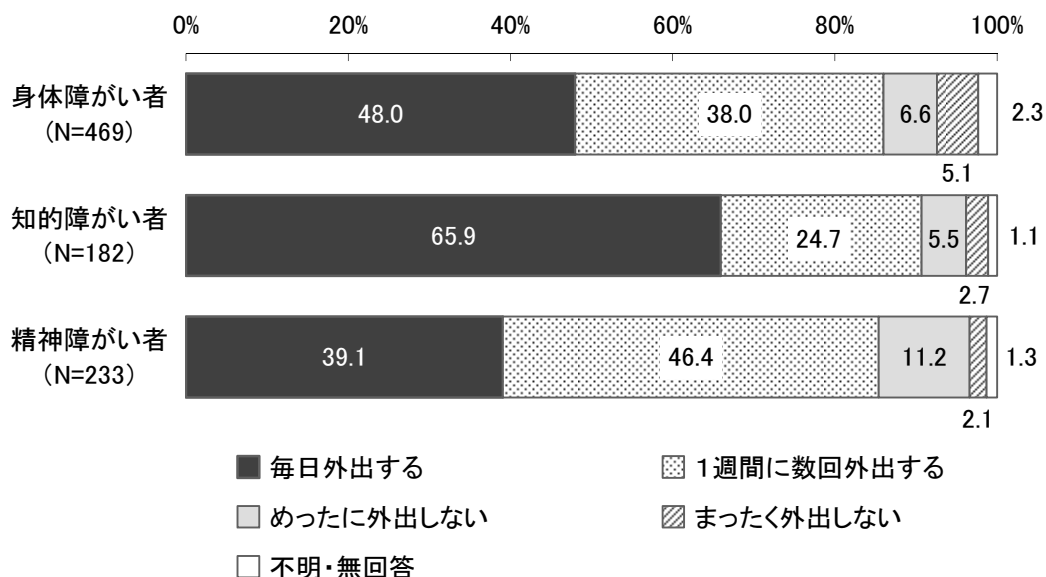
問 15 緊急時にそなえてどのような支援があるとよいと思いますか。(あてはまるものに○)

緊急時にそなえてあるとよい支援は、身体障がい者で「在宅支援（ホームヘルプなど）」が 29.0%、知的障がい者で「福祉施設（入所、短期入所）」が 58.8%、精神障がい者で「相談対応等」が 40.8%と、それぞれ最も高くなっています。



問 16 あなたは1週間にどの程度外出しますか。(○は1つ)

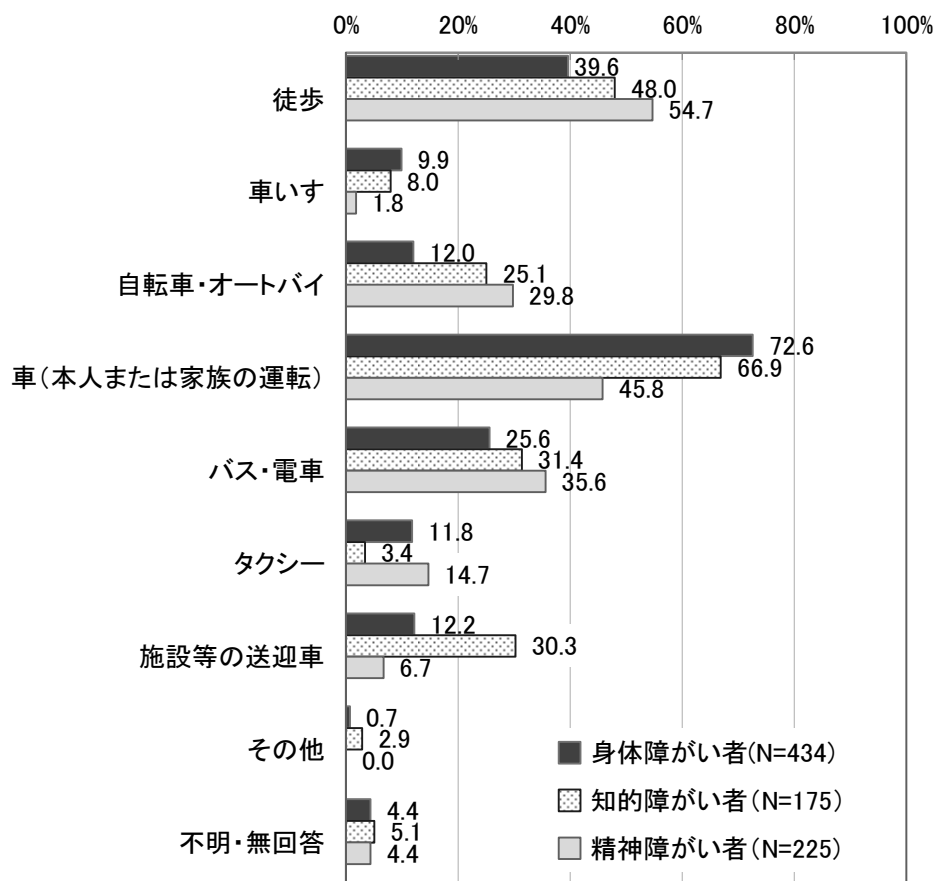
1週間に外出する頻度は、身体障がい及び知的障がいでは「毎日外出する」がそれぞれ48.0%、65.9%、精神障がいでは「1週間に数回外出する」が46.4%と、それぞれ最も高くなっています。



【問 17 は、問 16 で、「4 まったく外出しない」以外を選択した方がお答えください。】

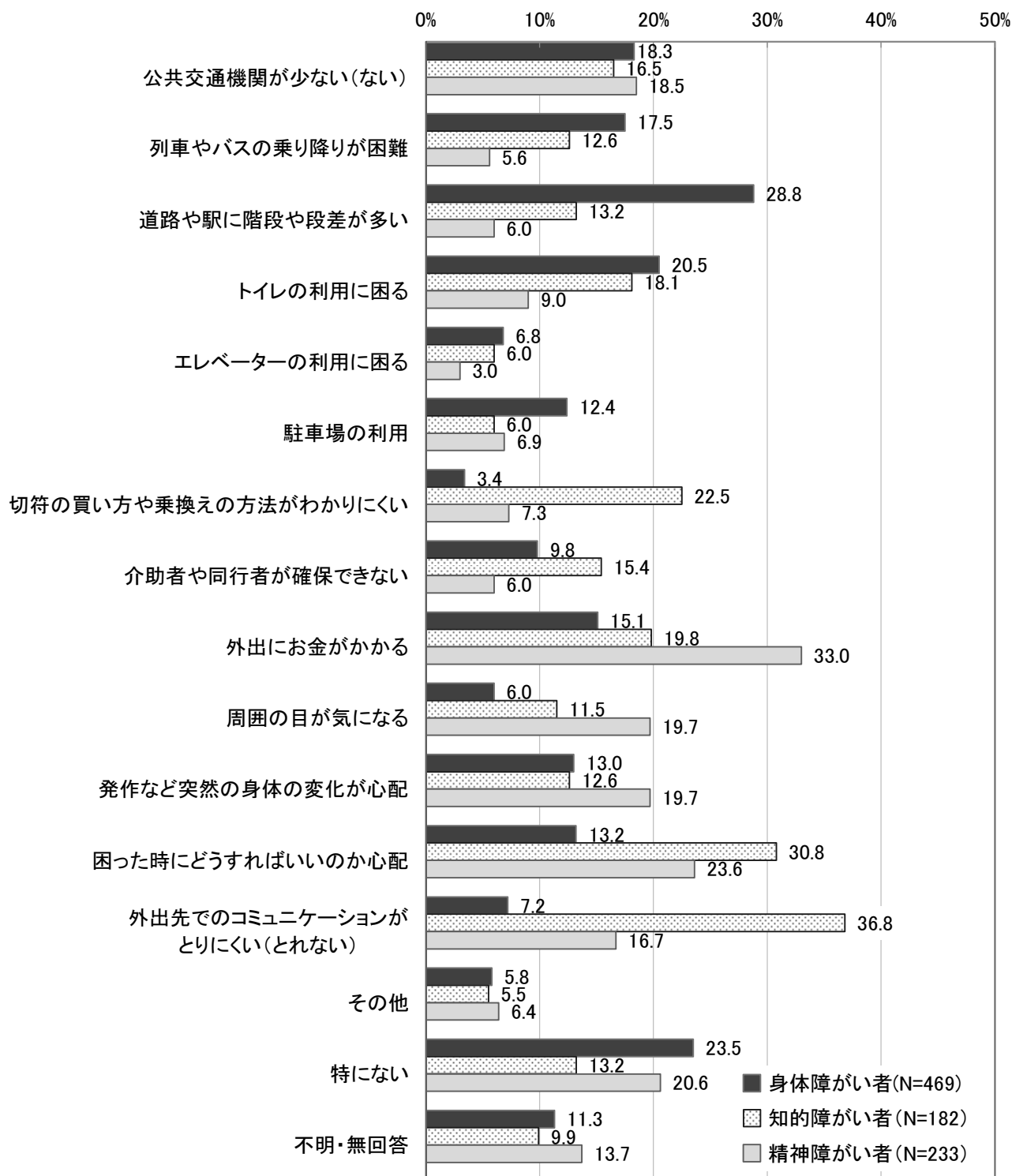
問 17 外出する際の主な移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出する際の主な移動手段は、身体障がい及び知的障がいでは「車（本人または家族の運転）」がそれぞれ72.6%、66.9%、精神障がいでは「徒歩」が54.7%と、それぞれ最も高くなっています。



問 18 外出する時に困ること、外出できない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

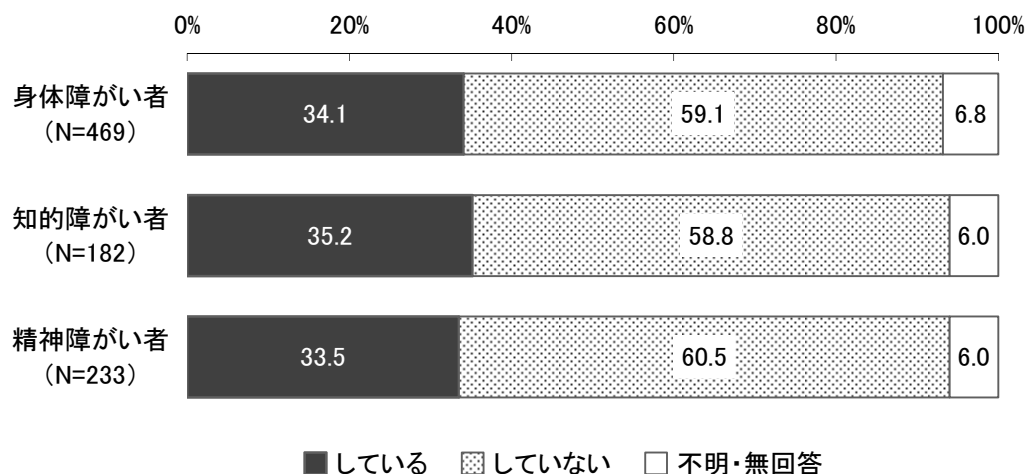
外出する時に困ること、外出できない理由は、身体障がい者で「道路や駅に階段や段差が多い」が28.8%、知的障がい者で「外出先でのコミュニケーションがとりにくい（とれない）」が36.8%、精神障がい者で「外出にお金がかかる」が33.0%と、それぞれ最も高くなっています。



(4) 昼間の過ごし方や仕事について

問 19 現在、あなたは仕事をしていますか。(福祉的就労を含む。)(○は1つだけ)

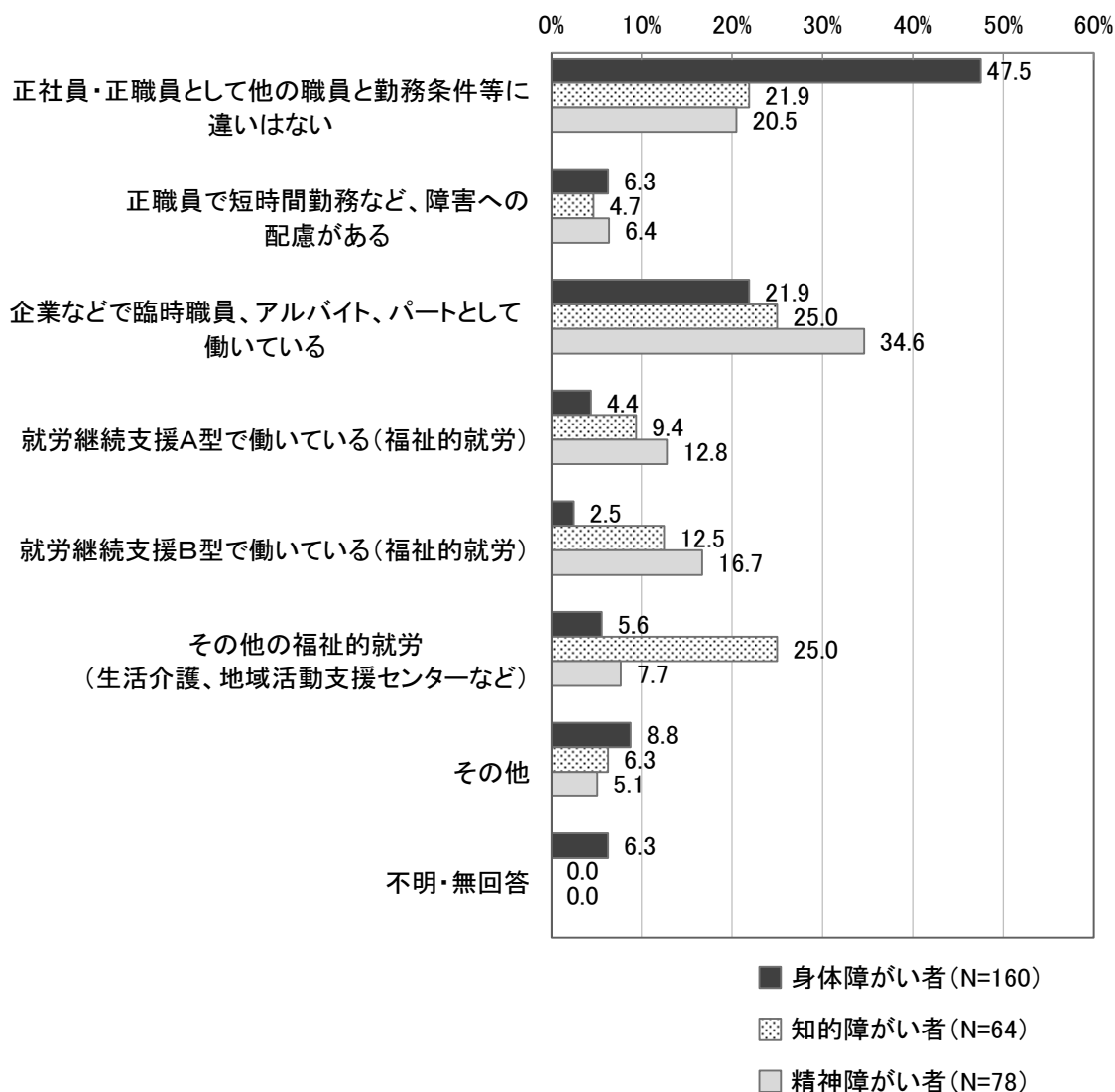
現在、仕事をしているかは、身体障がい、知的障がい及び精神障がいでは「していない」が59.1%、58.8%、60.5%と、最も高くなっています。



【問 20 と問 21 は、問 19 で、「1 している」を選択した方がお答えください。】

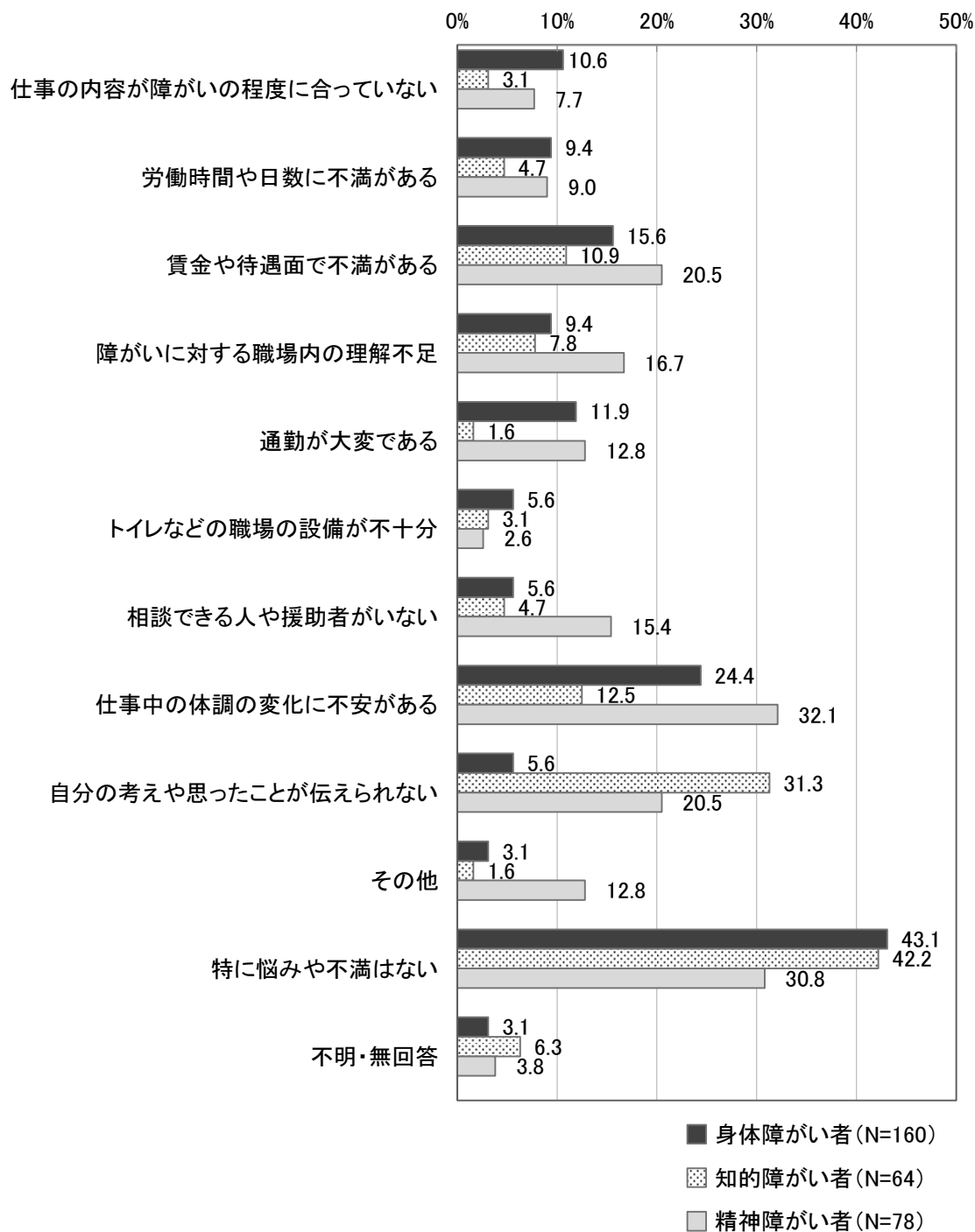
問 20 あなたはどのように、働いていますか。(あてはまるものすべてに○)

どのように働いているかは、身体障がい者で「正社員・正職員として他の職員と勤務条件等に違いはない」が 47.5%、知的障がい者で「企業などで臨時職員、アルバイト、パートとして働いている」及び「その他の福祉的就労（生活介護、地域活動支援センターなど）」が 25.0%、精神障がい者で「企業などで臨時職員、アルバイト、パートとして働いている」が 34.6%と、最も高くなっています。



問 21 現在の仕事について、悩みや不満はありますか。(あてはまるものすべてに○)

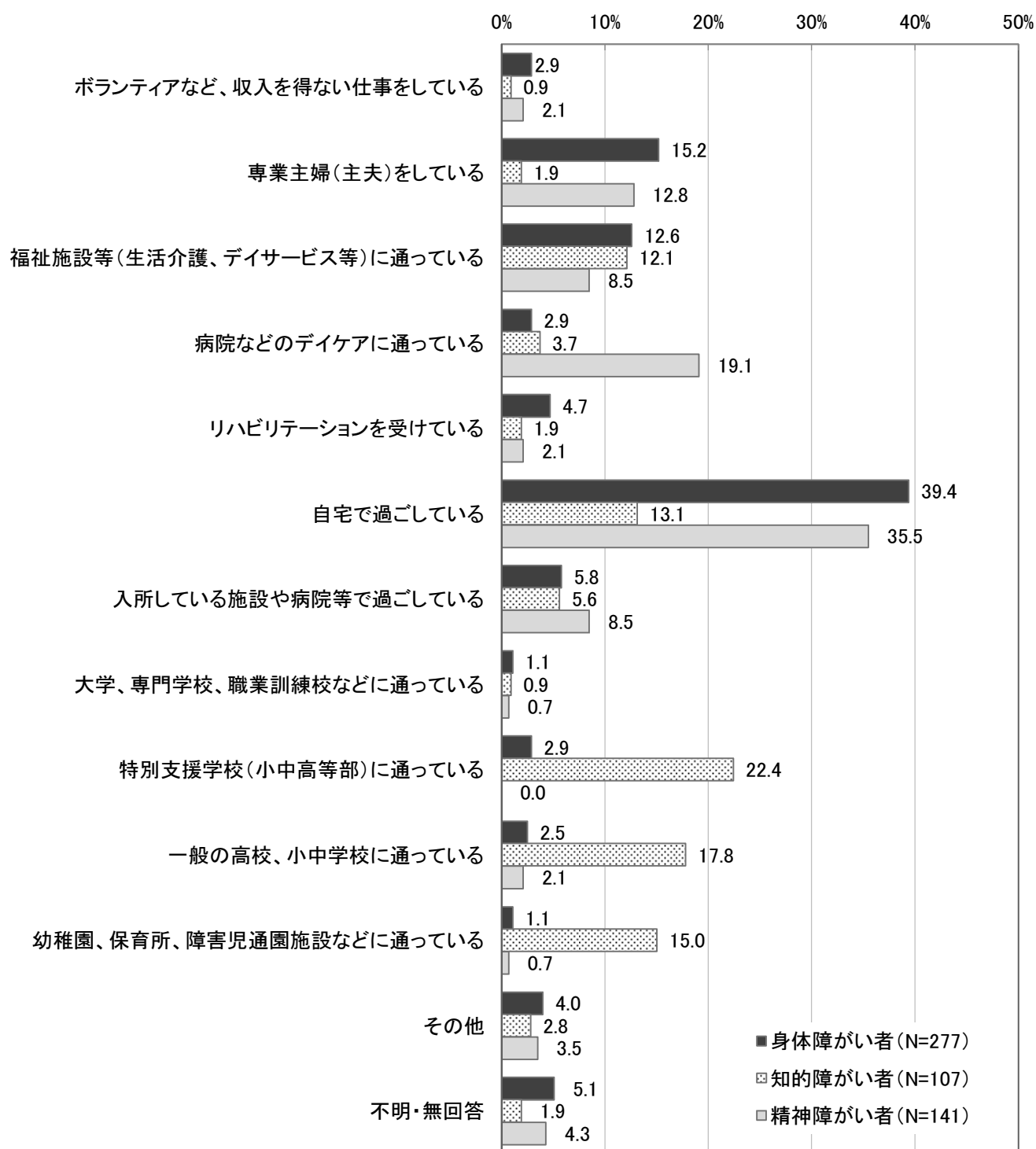
現在の仕事について、悩みや不満はあるかは、身体障がい及び知的障がい「特に悩みや不安はない」がそれぞれ 43.1%、42.2%、精神障がい「工作中的体調の変化に不安がある」が 32.1%と、最も高くなっています。



【問 22 から問 24 は、問 19 で、「2 していない」を選択した方がお答えください。】

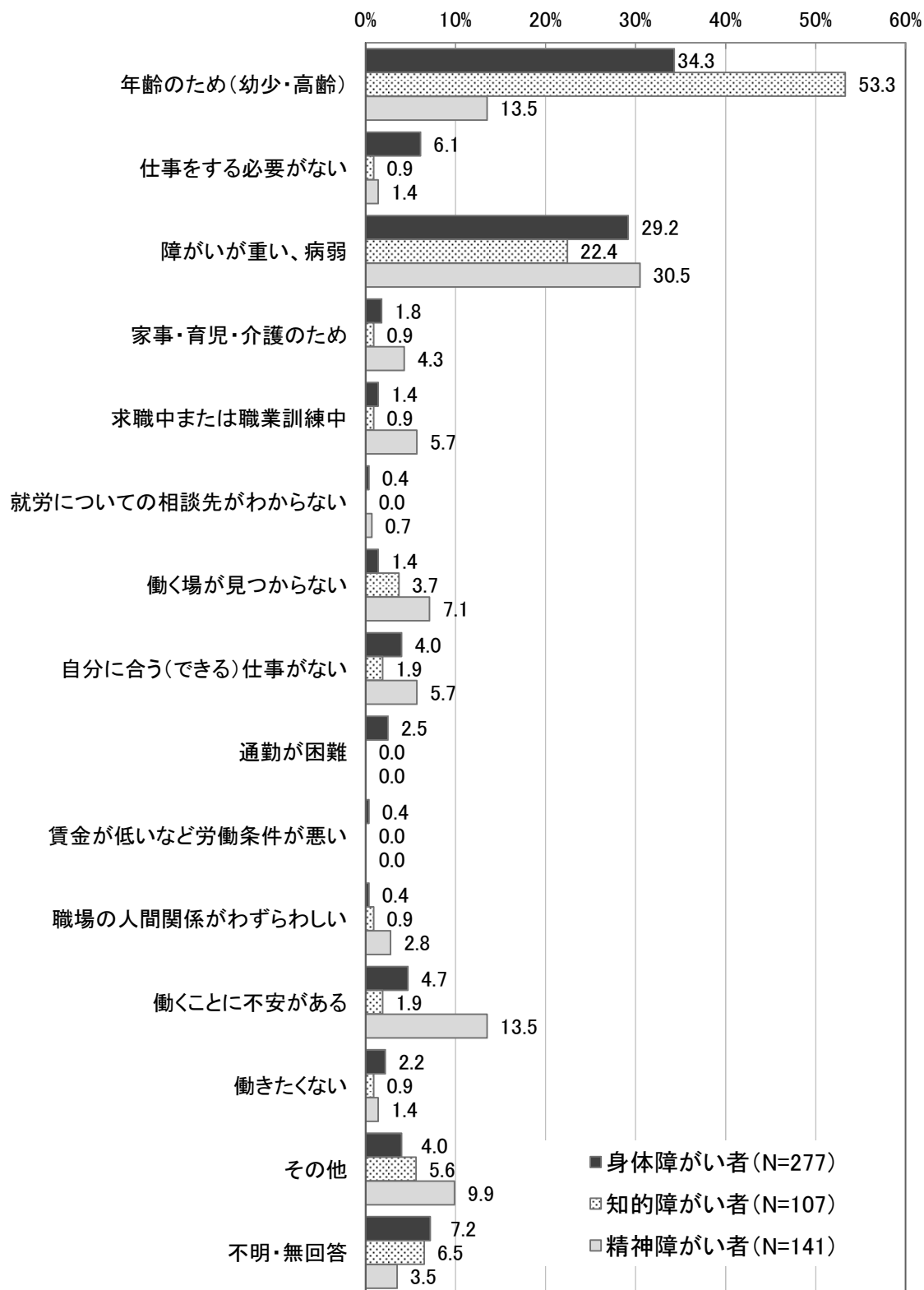
問 22 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（〇は1つだけ）

平日の日中を主にどのように過ごしているかは、身体障がい及び精神障がい者で「自宅で過ごしている」がそれぞれ 39.4%、35.5%、知的障がい者で「特別支援学校（小中高等部）に通っている」が 22.4%と、それぞれ最も高くなっています。



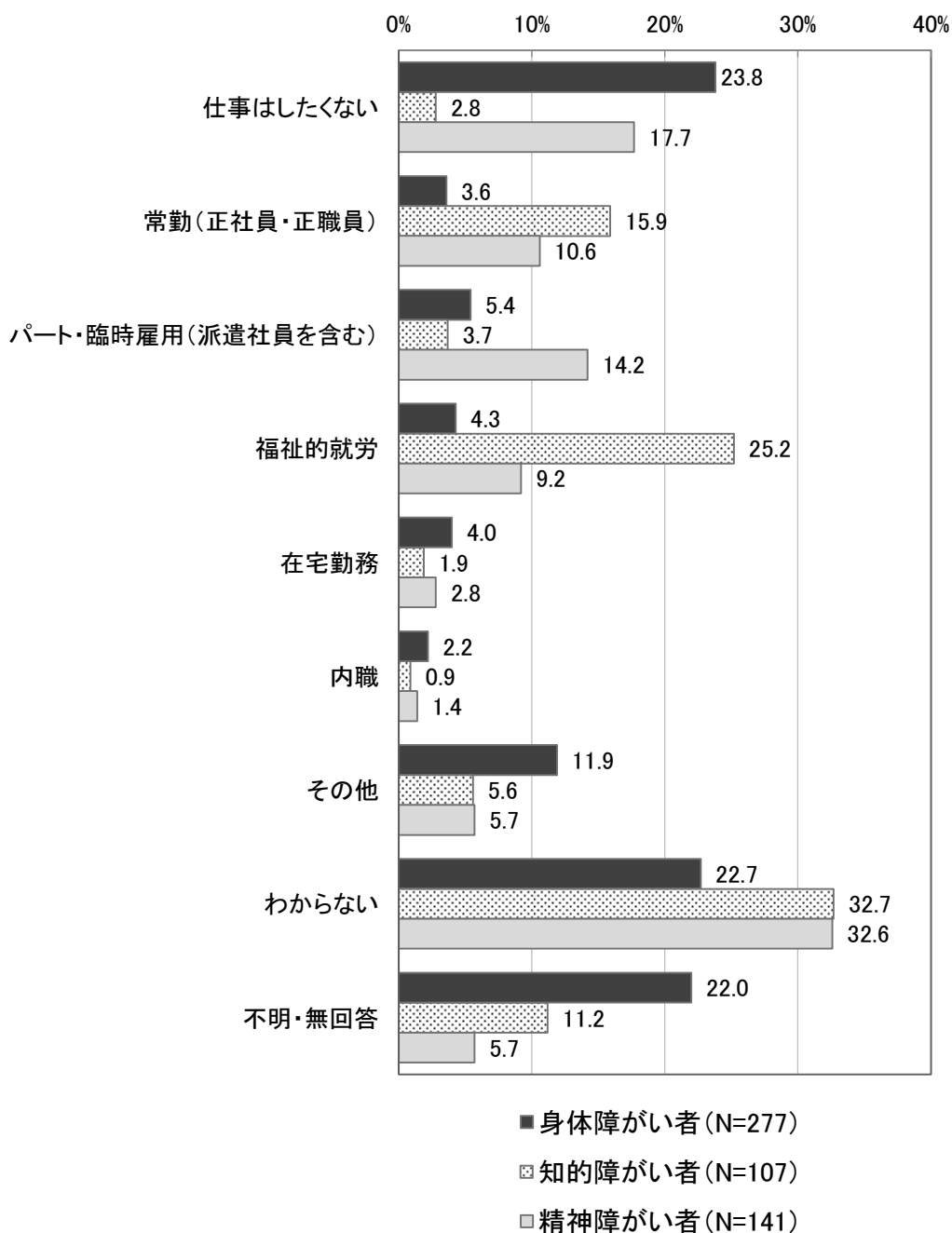
問 23 仕事をしていない・できない理由はなんですか。(○は1つだけ)

仕事をしていない・できない理由は、身体障がい及び知的障がいで「年齢のため（幼少・高齢）」がそれぞれ 34.3%、53.3%、精神障がいで「障がいが重い、病弱」が 30.5%と、それぞれ最も高くなっています。



問 24 今後、どのような形で働きたいですか。(○は1つだけ)

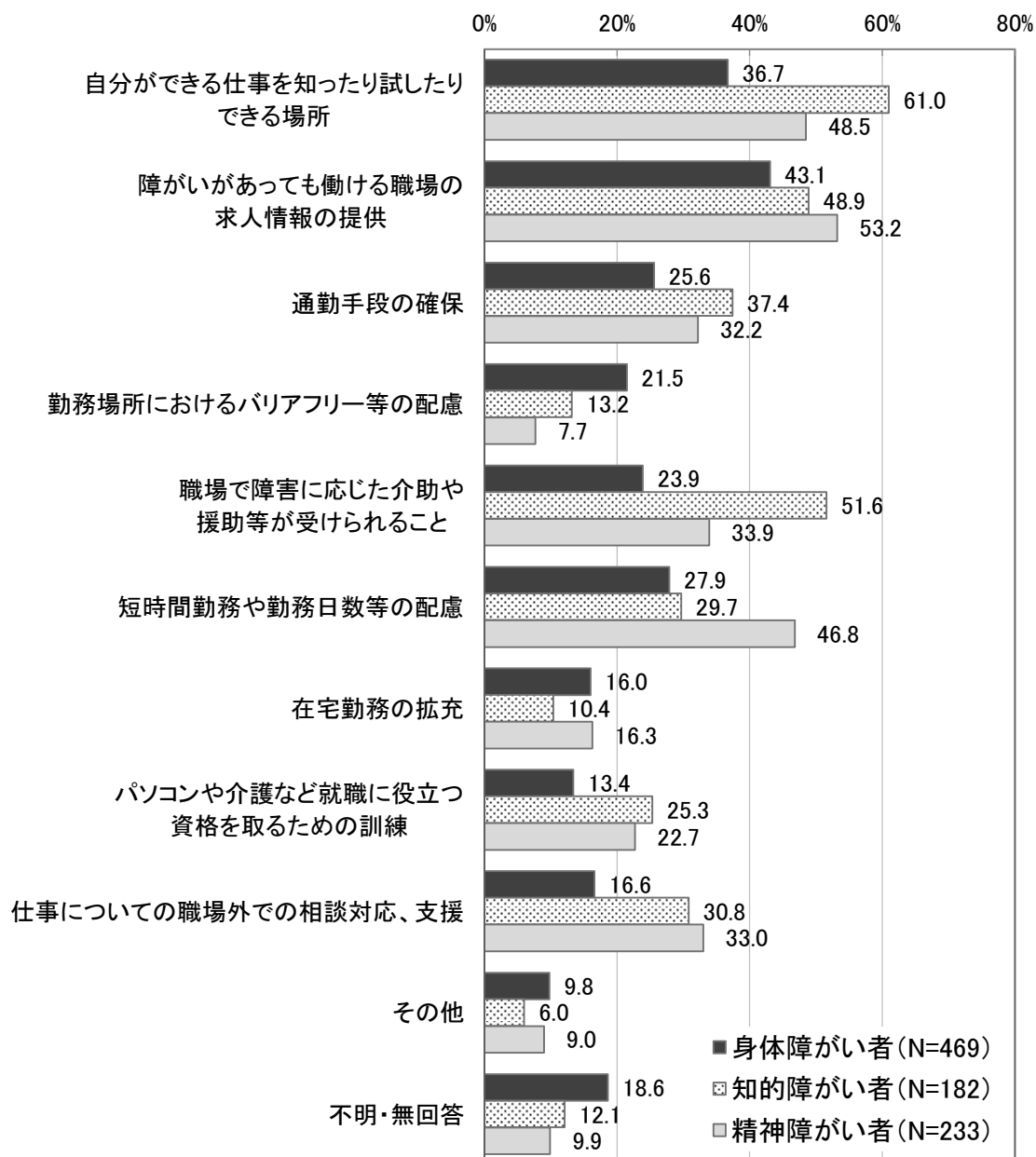
今後、どのような形で働きたいかは、身体障がい者で「仕事はしたくない」が23.8%、知的障がい及び精神障がい者で「わからない」が32.7%、32.6%と、それぞれ最も高くなっています。



【ここからは全ての方がお答えください。】

問 25 あなたは、障がいを持ちながら仕事をすることに對して、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものに○)

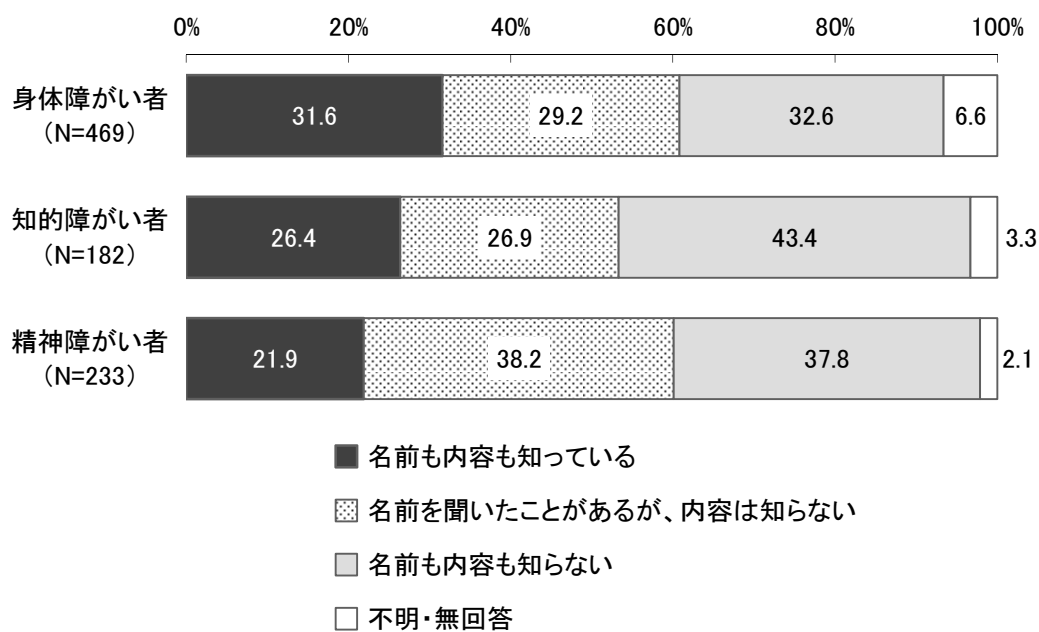
障がいを持ちながら仕事をすることに對して、どのような支援が必要だと思うかは、身体障がい及び精神障がい「障がいがあっても働ける職場の求人情報の提供」がそれぞれ43.1%、53.2%、知的障がい「自分ができる仕事を知ったり試したりできる場所」が61.0%と、それぞれ最も高くなっています。



(5) 権利擁護について

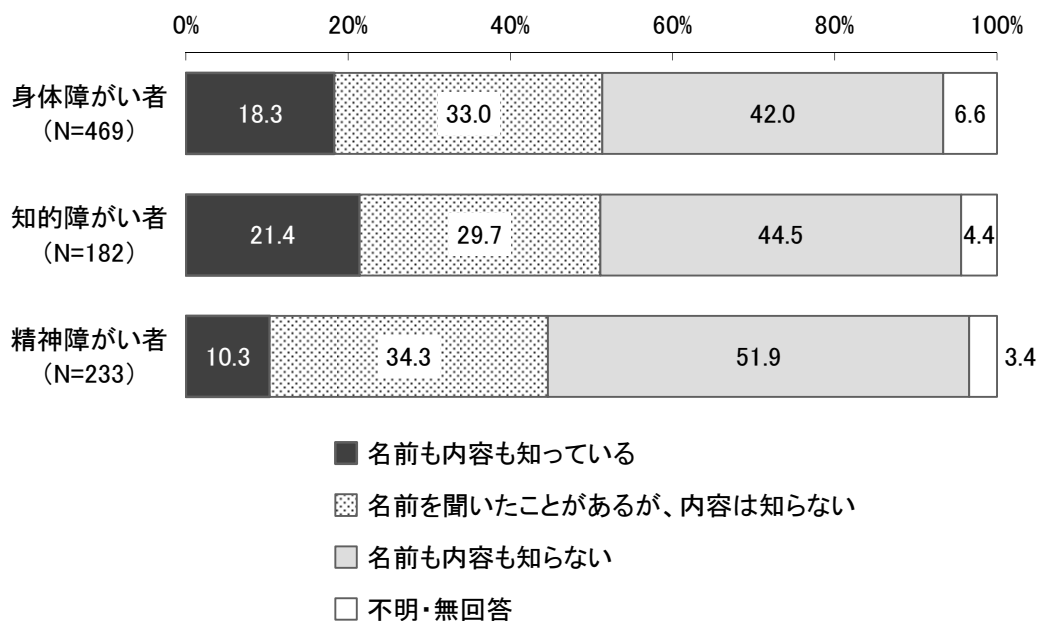
問 26 成年後見制度についてご存知ですか。(○は1つだけ)

成年後見制度については、身体障がい及び知的障がいで「名前も内容も知らない」がそれぞれ 32.6%、43.4%、精神障がいで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 38.2%と、それぞれ最も高くなっています。



問 27 平成 24 年 10 月より「障害者虐待防止法」が施行されています。「障害者虐待防止法」について知っていましたか。(○は1つだけ)

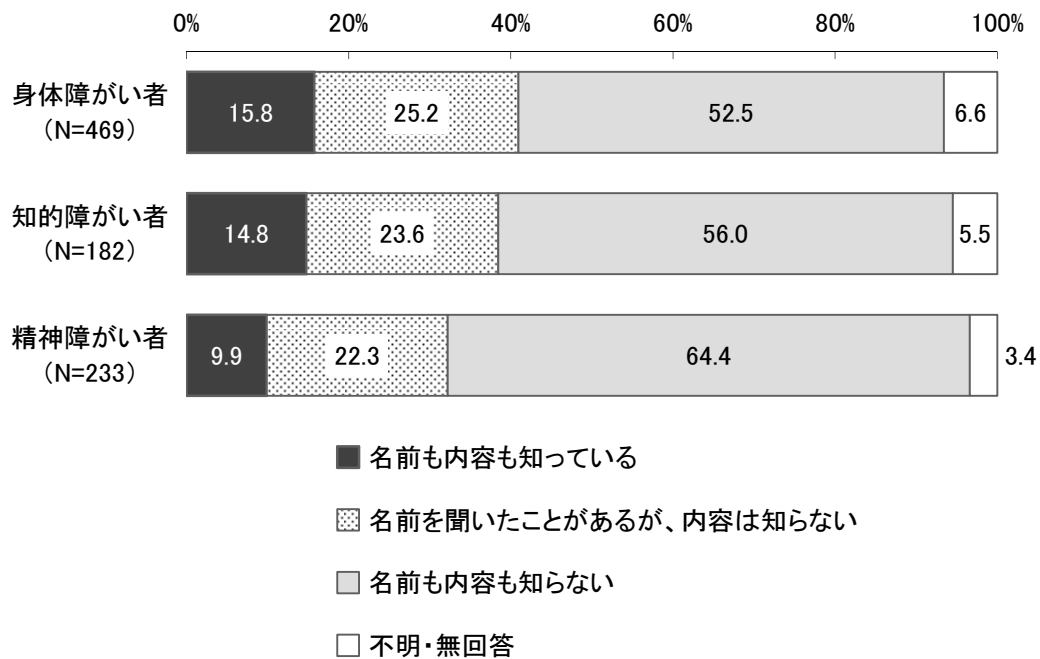
「障害者虐待防止法」については、身体障がい、知的障がい及び精神障がいで「名前も内容も知らない」が 42.0%、44.5%、51.9%と、それぞれ最も高くなっています。



(6) 障がいへの理解、地域共生社会について

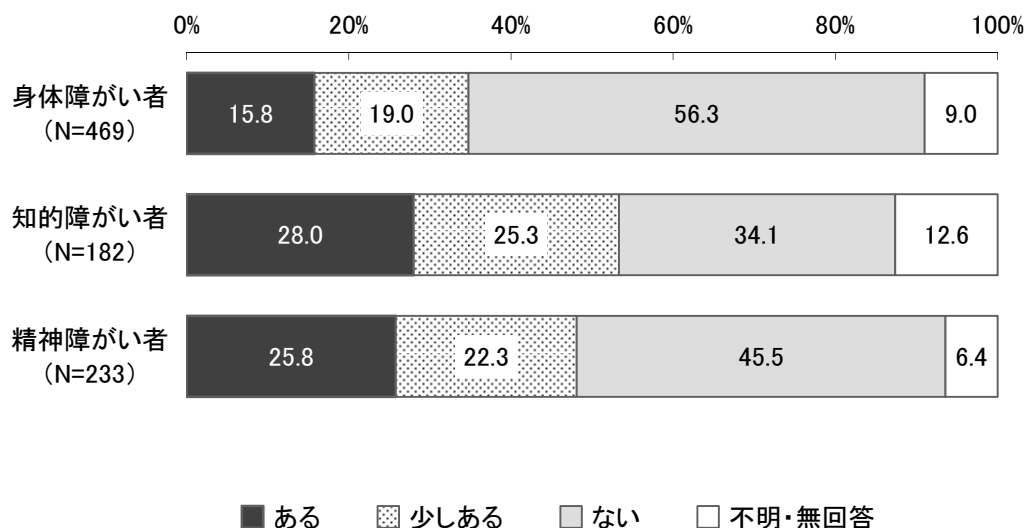
問 28 平成 28 年 4 月より「障害者差別解消法」が施行されています。「障害者差別解消法」とは、「不当な差別的取扱い」と「合理的配慮をしないこと」が差別であると定めた法律のことです。「障害者差別解消法」について知っていましたか。(○は1つだけ)

「障害者差別解消法」については、身体障がい、知的障がい及び精神障がいで「名前も内容も知らない」がそれぞれ 52.5%、56.0%、64.4%と、それぞれ最も高くなっています。



問 29 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)

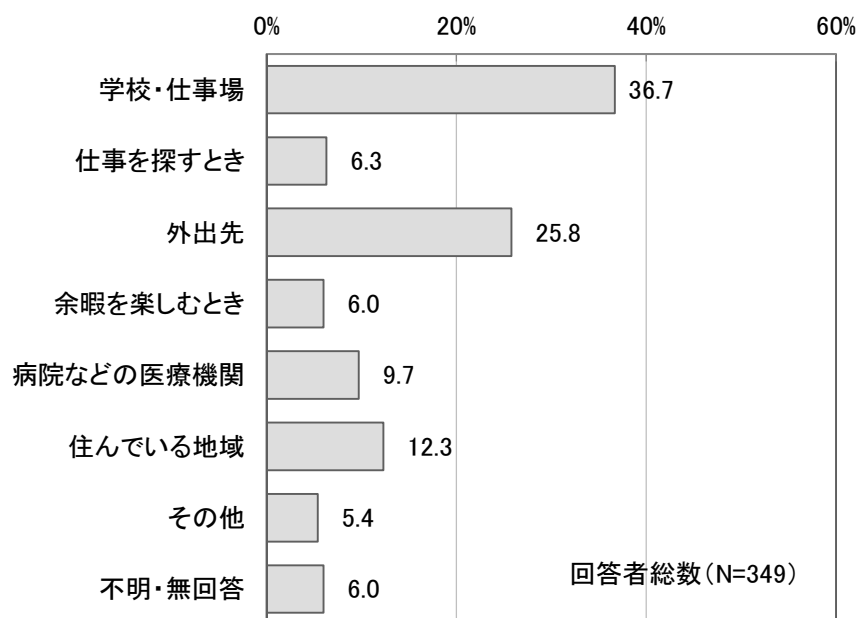
障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがあるかは、身体障がい、知的障がい及び精神障がいで「ない」がそれぞれ 56.3%、34.1%、45.5%と、それぞれ最も高くなっています。



【問 30 は、問 29 で「1」「2」を選択した方のみお答えください。】

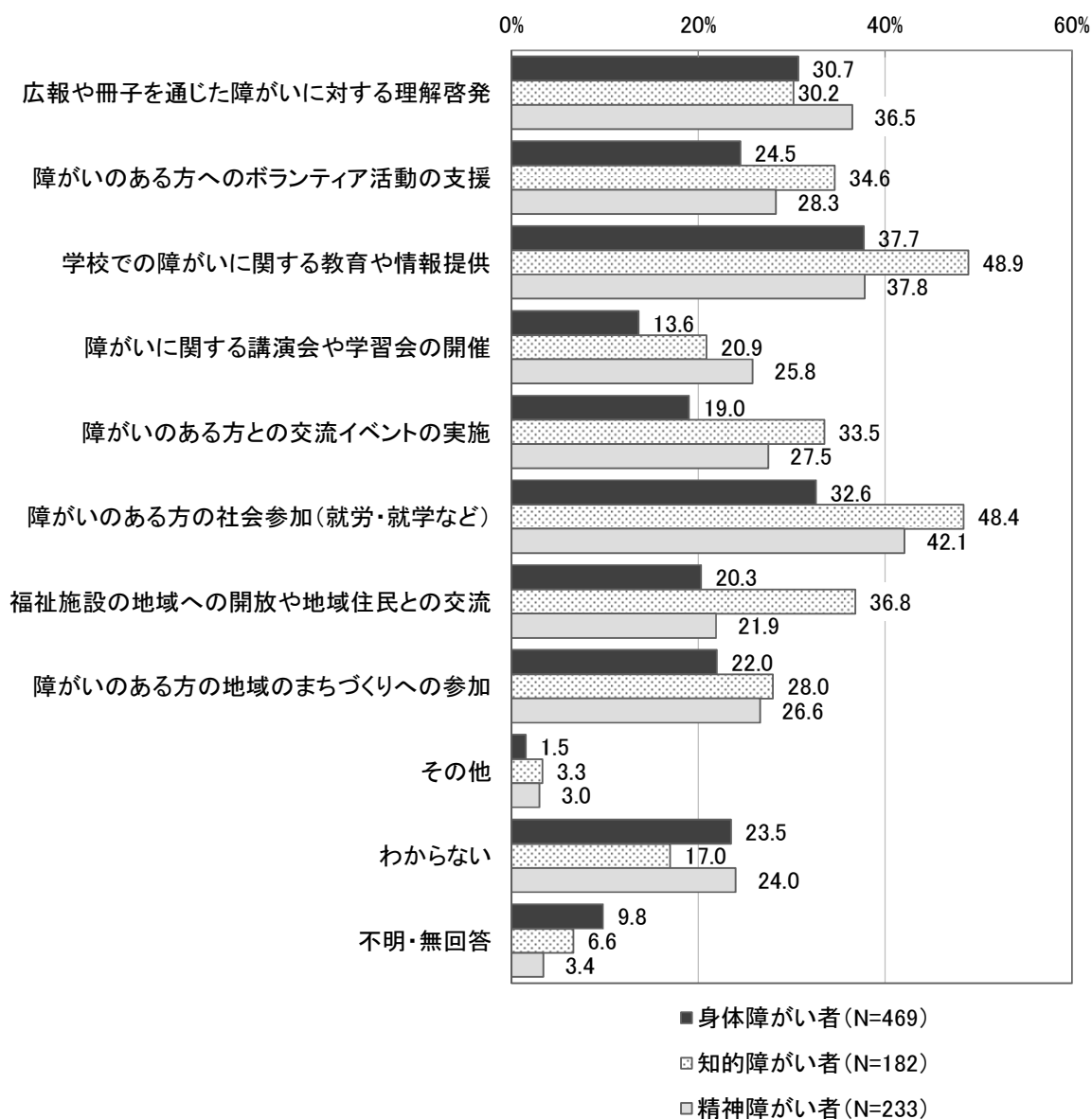
問 30 どのような場所で差別や嫌な思いを経験しましたか。

差別や嫌な思いを経験した場所は、「学校・仕事場」が 36.7%と最も高く、次いで「外出先」が 25.8%となっています。



問 31 障がいのある方に対する市民の理解を深めるために、必要だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

障がいのある方に対する市民の理解を深めるために必要なことは、身体障がい及び知的障がい「学校での障がいに関する教育や情報提供」がそれぞれ 37.7%、48.9%、精神障がい「障がいのある方の社会参加（就労・就学など）」が 42.1%と、それぞれ最も高くなっています。

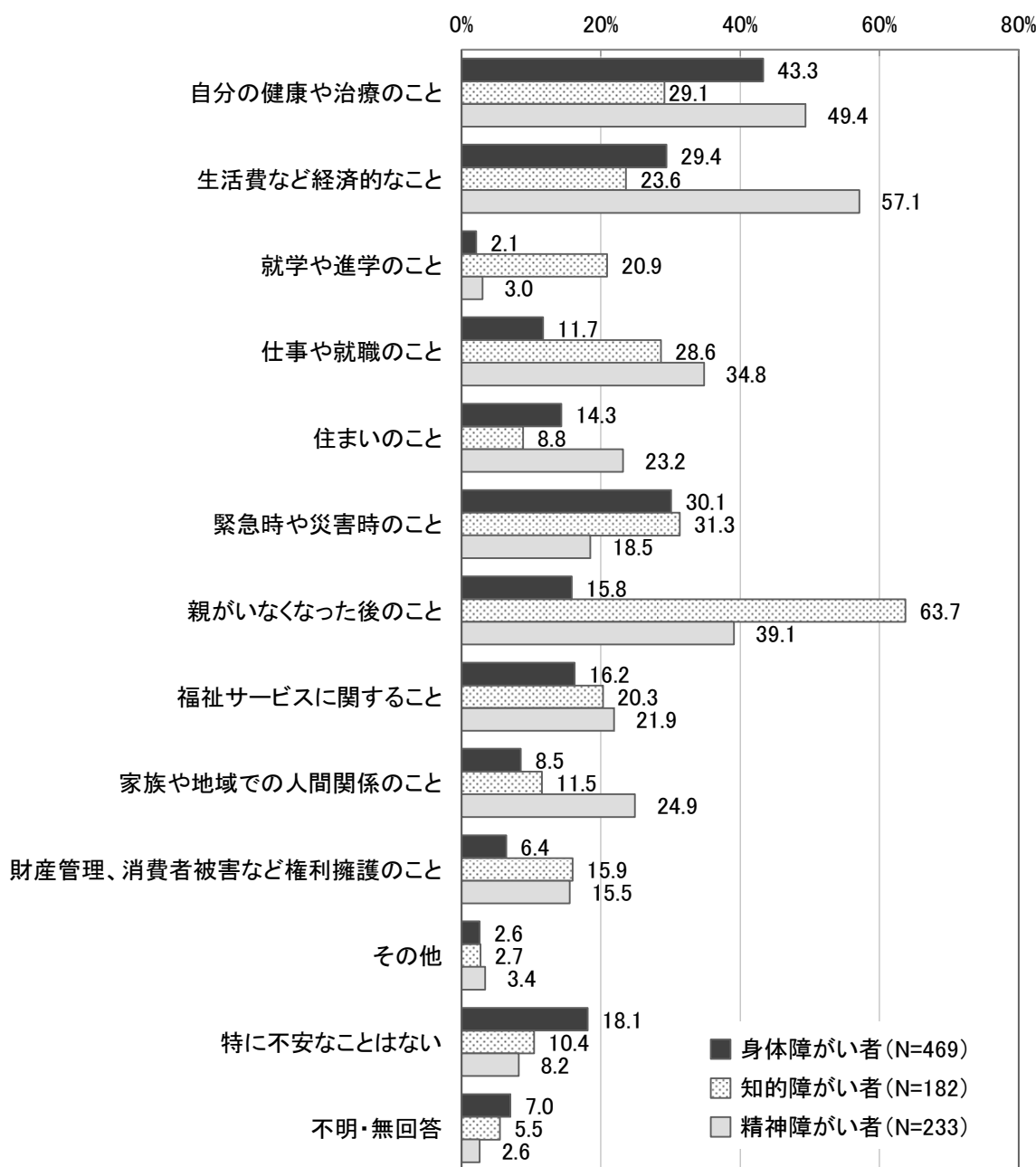


(7) 相談相手・情報の入手について

問 32 現在の生活で不安なこと(誰かに相談したいこと)はありますか。

(あてはまるものすべてに○)

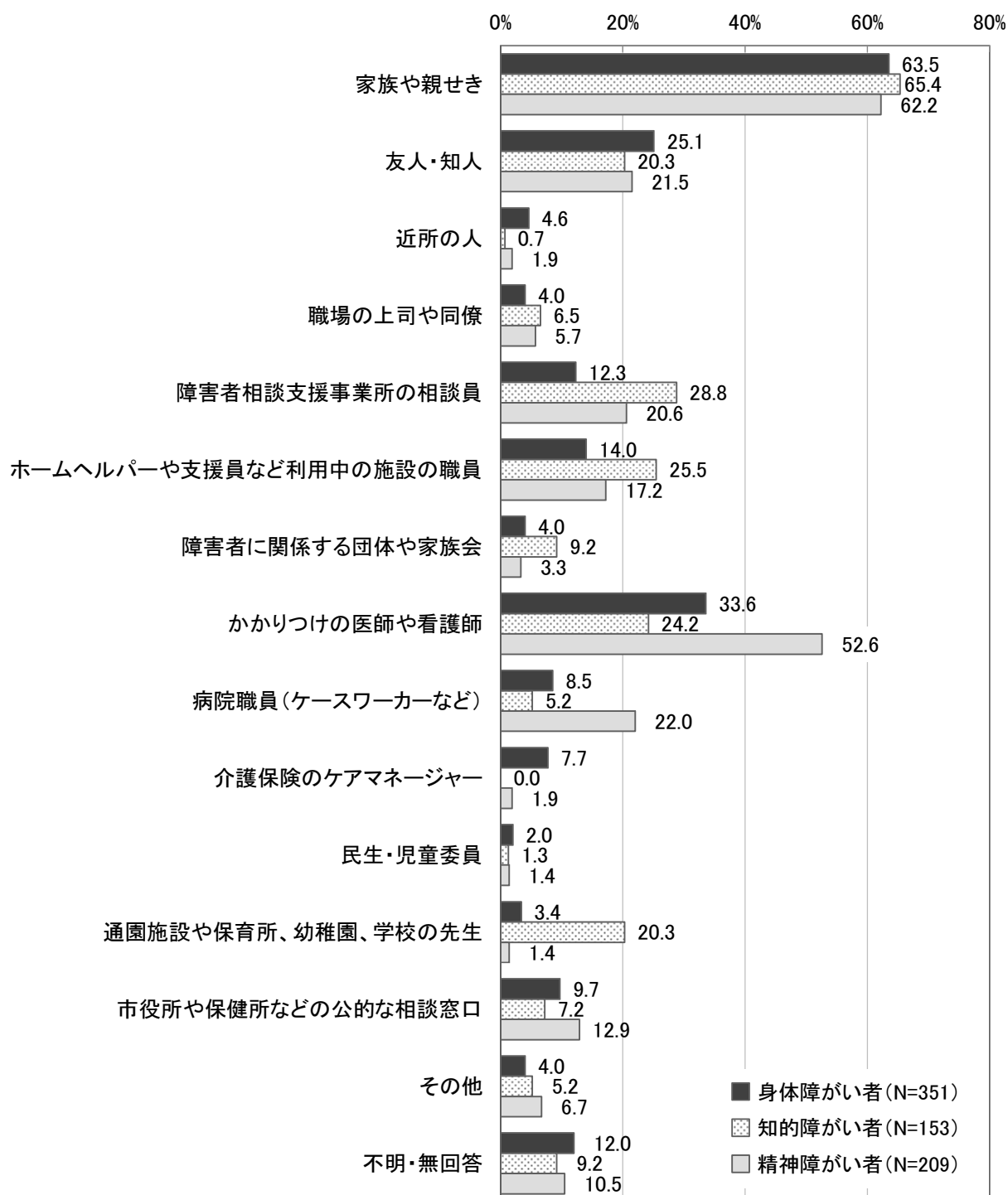
現在の生活で不安なことは、身体障がい者で「自分の健康や治療のこと」が 43.3%、知的障がい者で「親がいなくなった後のこと」が 63.7%、精神障がい者で「生活費など経済的なこと」が 57.1%と、それぞれ最も高くなっています。



【問 33 は、問 32 で「12 特に不安なことはない」以外を選択した方のみお答えください。】

問 33 普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

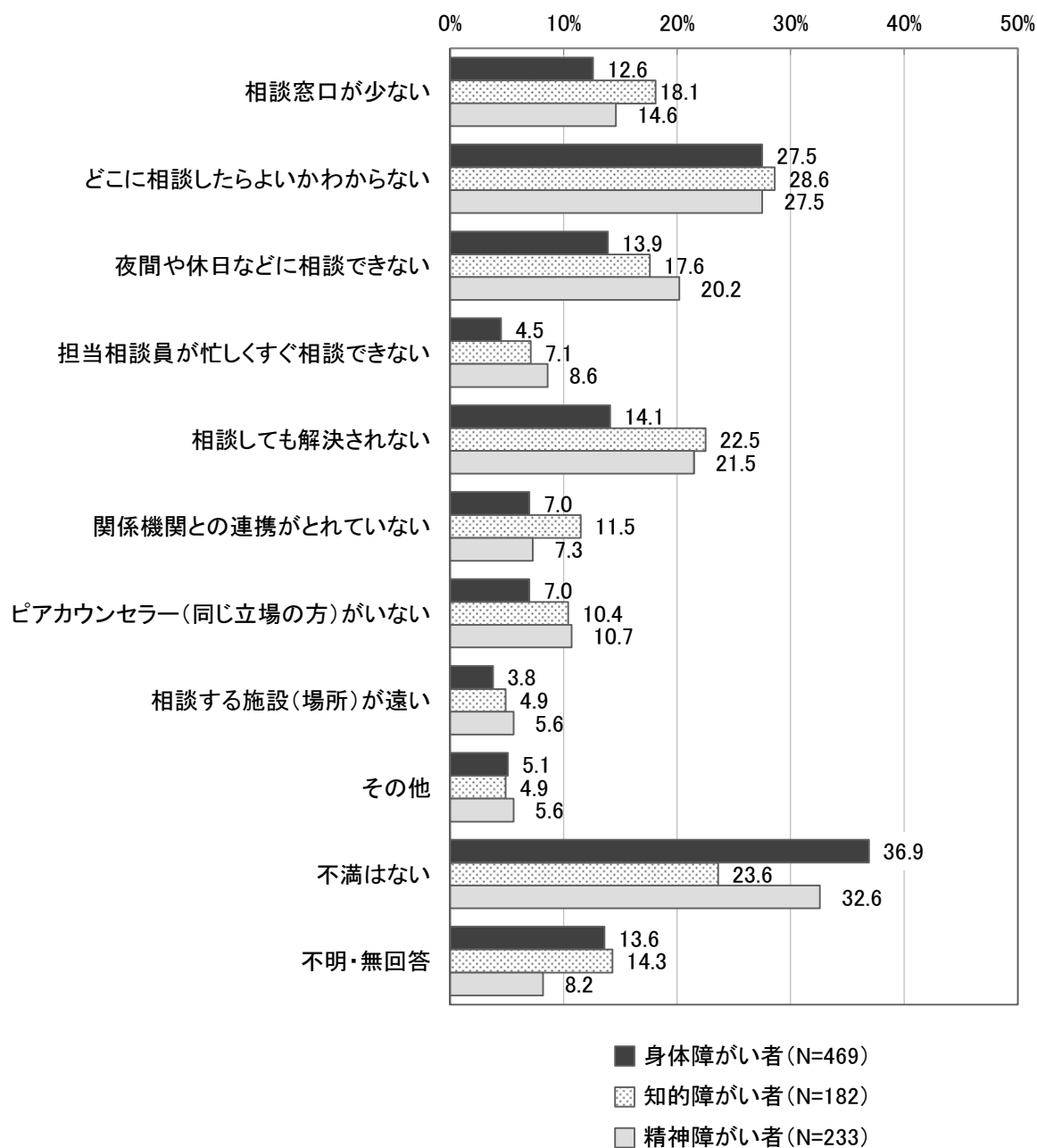
悩みや困ったことを相談する相手は、身体障がい、知的障がい及び精神障がいでは「家族や親せき」がそれぞれ 63.5%、65.4%、62.2%と、それぞれ最も高くなっています。また、精神障がいでは「かかりつけ医師や看護師」の割合も 50%を超え、高くなっています。



問 34 現在の障がい者支援に関する相談体制について、不満はありますか。

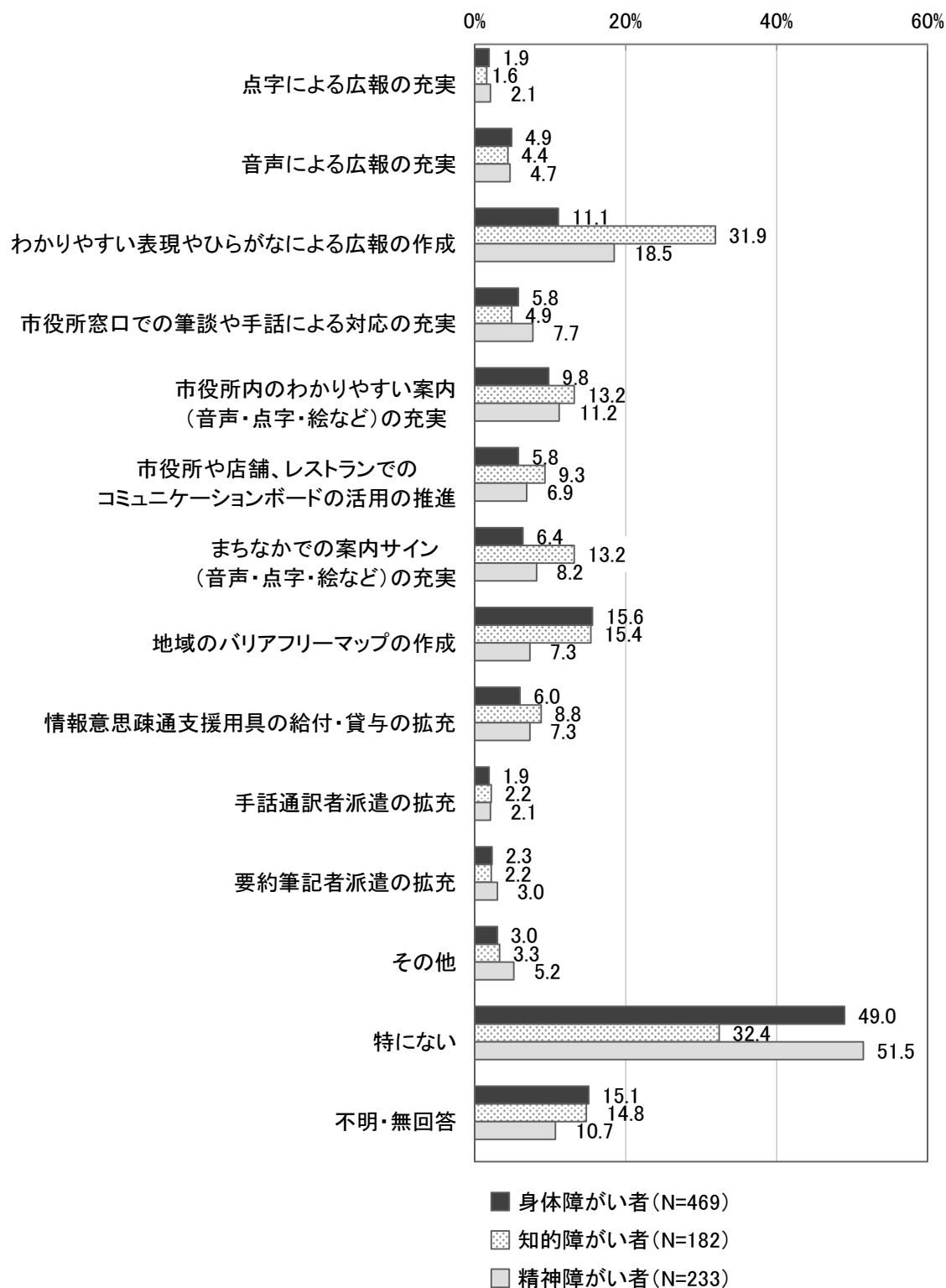
(あてはまるものすべてに○)

現在の障がい者支援に関する相談体制についての不満は、身体障がい及び精神障がいでは「不満はない」がそれぞれ 36.9%、32.6%、知的障がいでは「どこに相談したらよいかわからない」が 28.6%と、それぞれ最も高くなっています。



問 35 あなたは情報提供やコミュニケーションに対し、どのような支援を求めますか。
(あてはまるものすべてに○)

情報提供やコミュニケーションに対し求める支援は、身体障がい、知的障がい及び精神障がい「特にない」がそれぞれ49.0%、32.4%、51.5%と、それぞれ最も高くなっています。



(8) 障害福祉サービス等の利用について

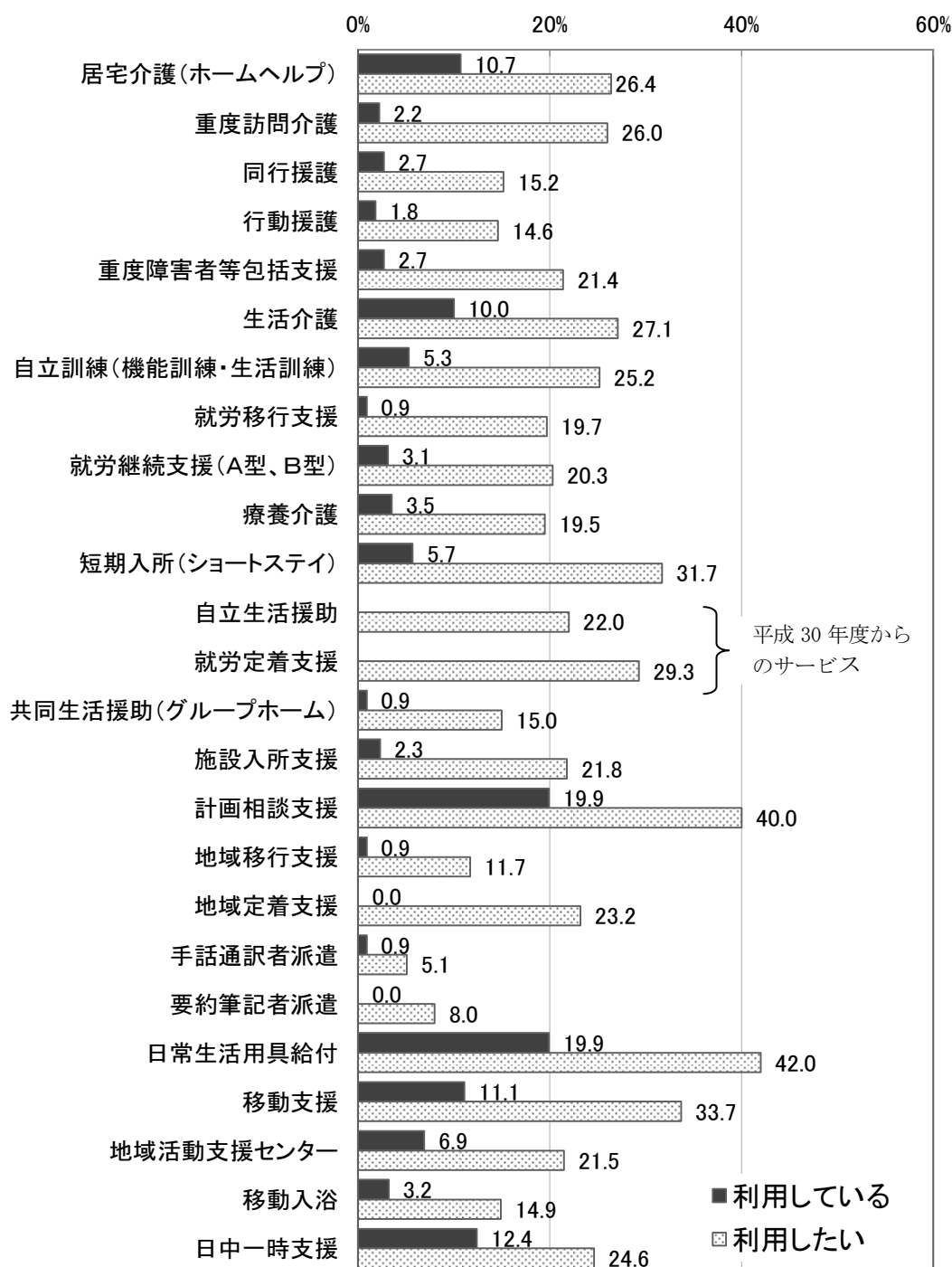
【問 36・問 37 はあて名のご本人が 65 歳未満の方のみお答えください。】

問 36 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。(それぞれあてはまるものに○)

①身体障がい【利用状況・利用意向】 ※不明・無回答者を除いて集計

身体障がいにおけるサービスの利用状況は、計画相談支援や日常生活用具給付で「利用している」が高くなっています。

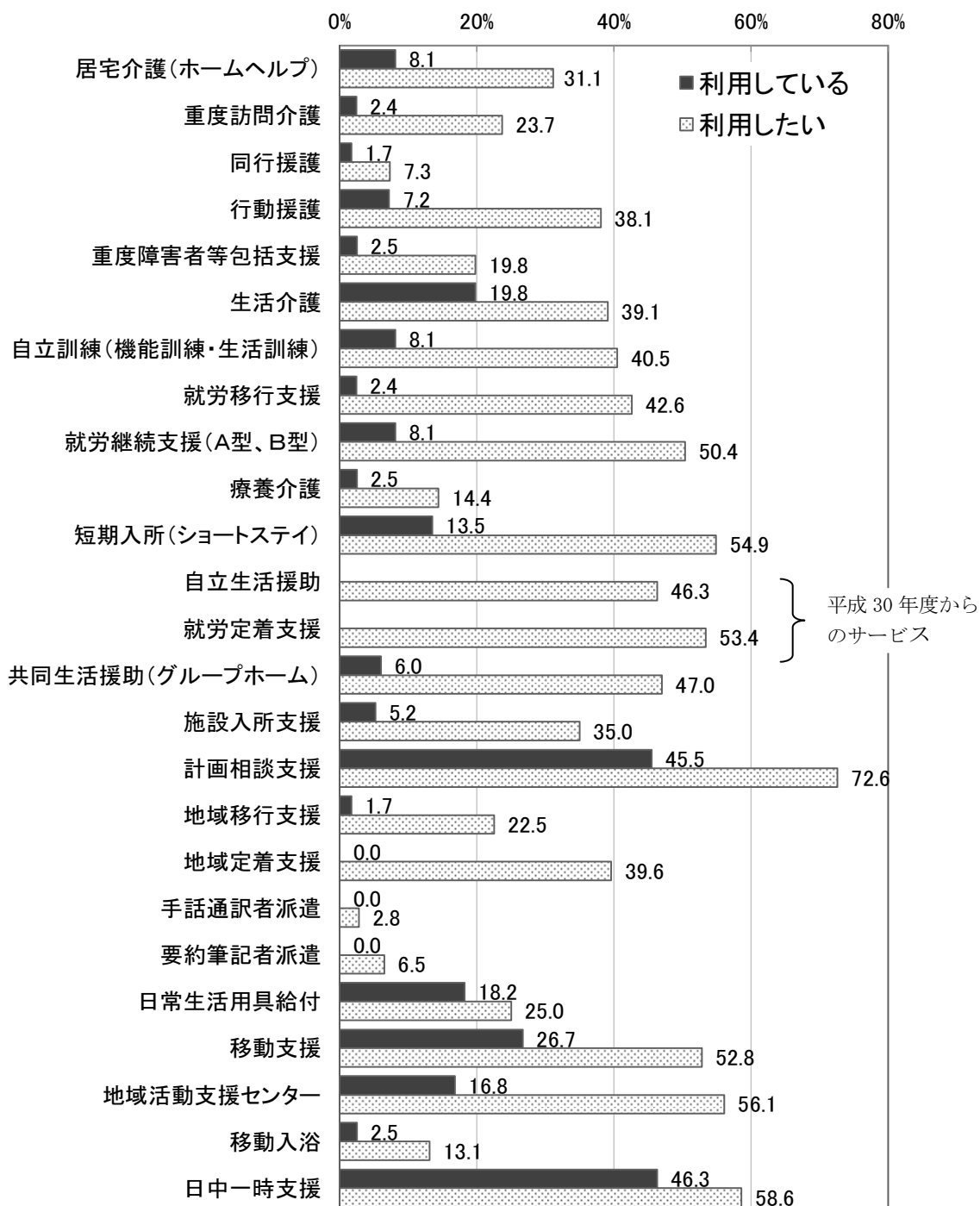
利用意向では、日常生活用具給付、計画相談支援、移動支援、短期入所（ショートステイ）等で「利用したい」割合が高くなっています。



②知的障がい【利用状況・利用意向】 ※不明・無回答者を除いて集計

知的障がいにおけるサービスの利用状況は、日中一時支援、計画相談支援で「利用している」が高くなっています。

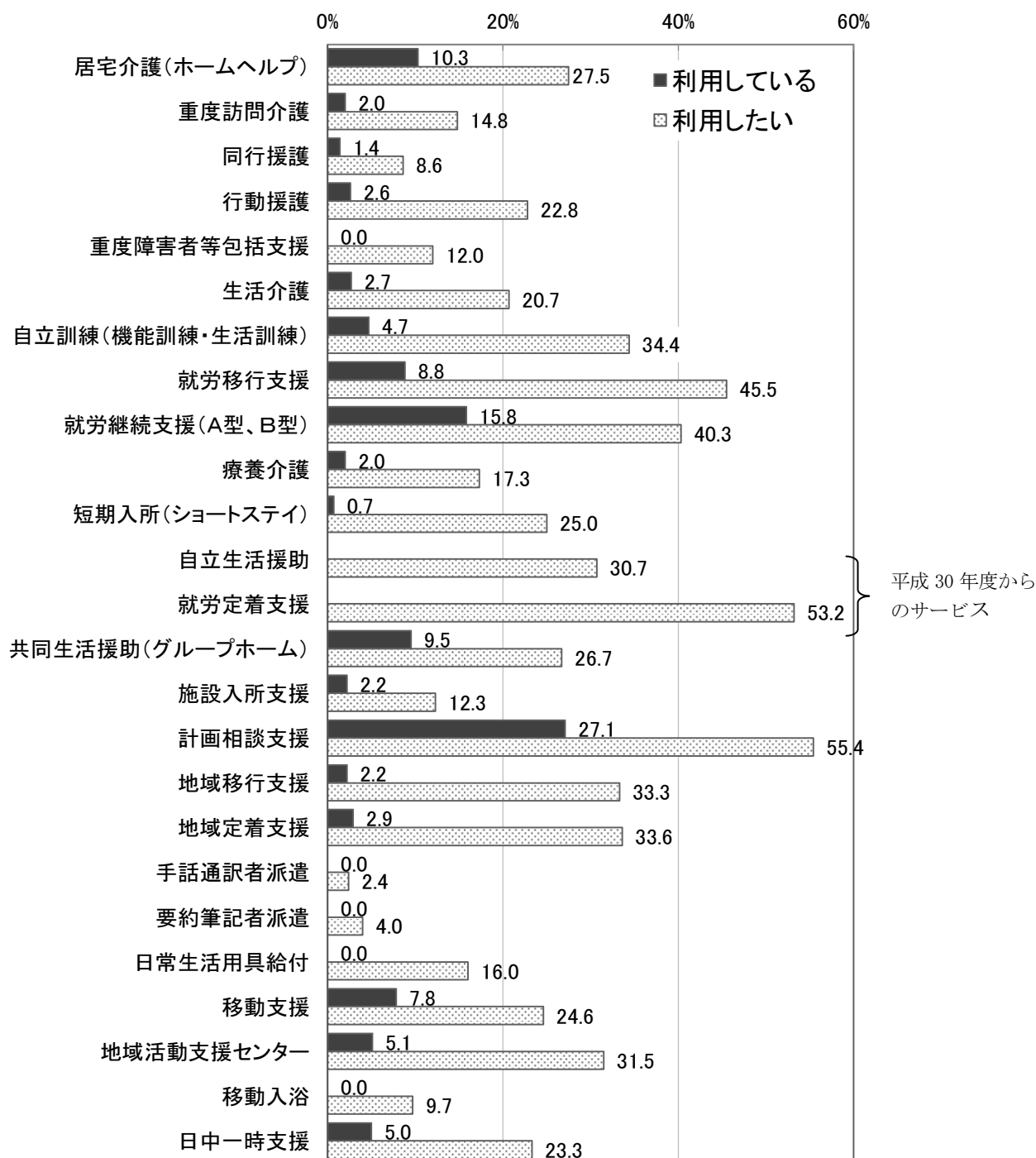
利用意向では、計画相談支援、日中一時支援、地域活動支援センター、短期入所（ショートステイ）、就労定着支援、就労継続支援（A型、B型）等で「利用したい」割合が高くなっています。



③精神障がい【利用状況・利用意向】 ※不明・無回答者を除いて集計

精神障がいにおけるサービスの利用状況は、計画相談支援、就労継続支援（A型、B型）で「利用している」が高くなっています。

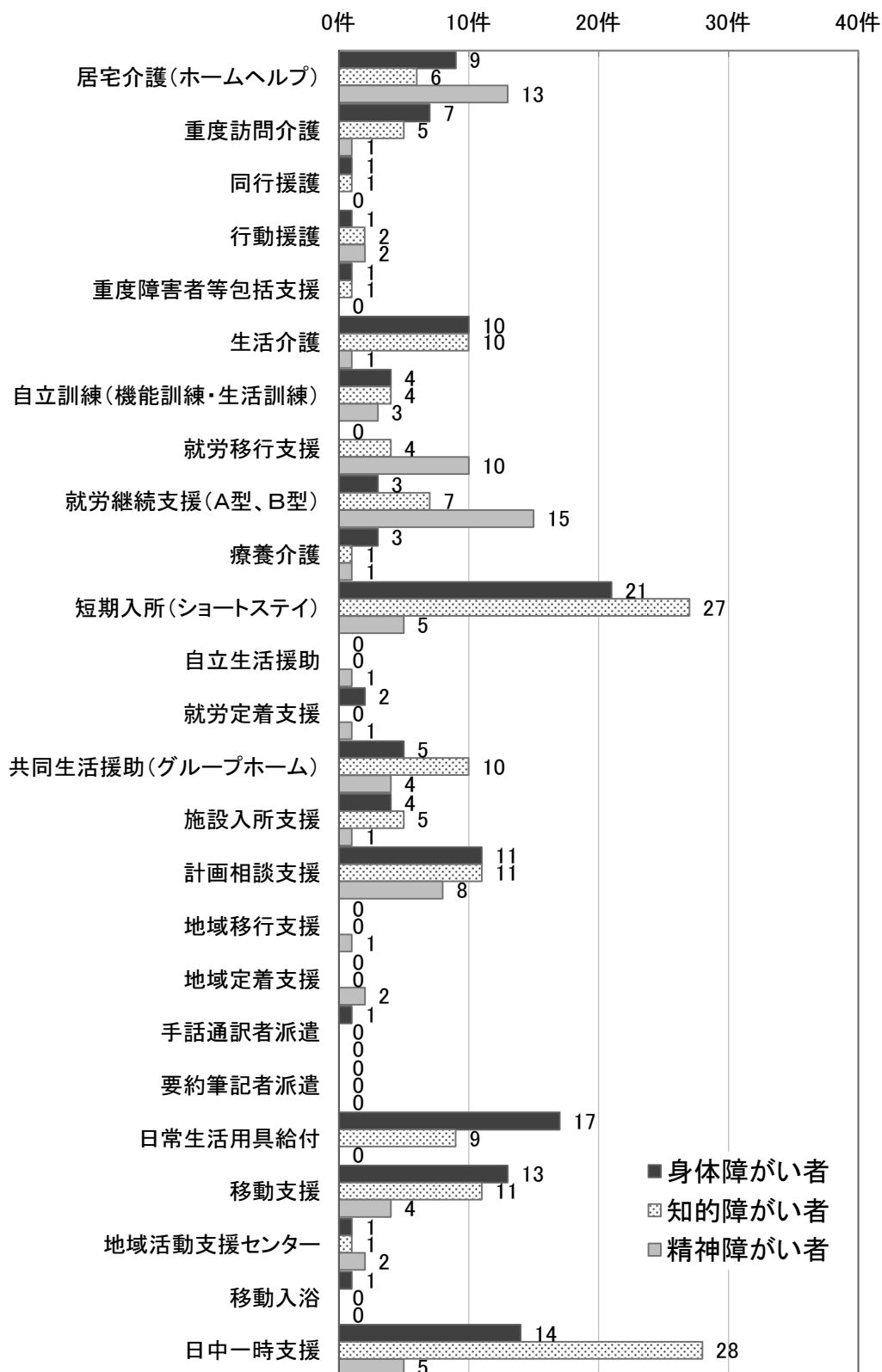
利用意向では、計画相談支援、就労定着支援等で「利用したい」が高くなっています。



【問 36 で1つでも「1 利用している」を選択した方がお答えください。】

問 37 現在利用しているサービスの中で、特に充実・改善してほしいものはどれですか。

特に充実・改善してほしいサービスは、身体障がい者で「短期入所（ショートステイ）」、知的障がい者で「日中一時支援」、精神障がい者で「就労継続支援（A型、B型）」が、それぞれ件数が多くなっています。



(9) 子どもの療育・教育について

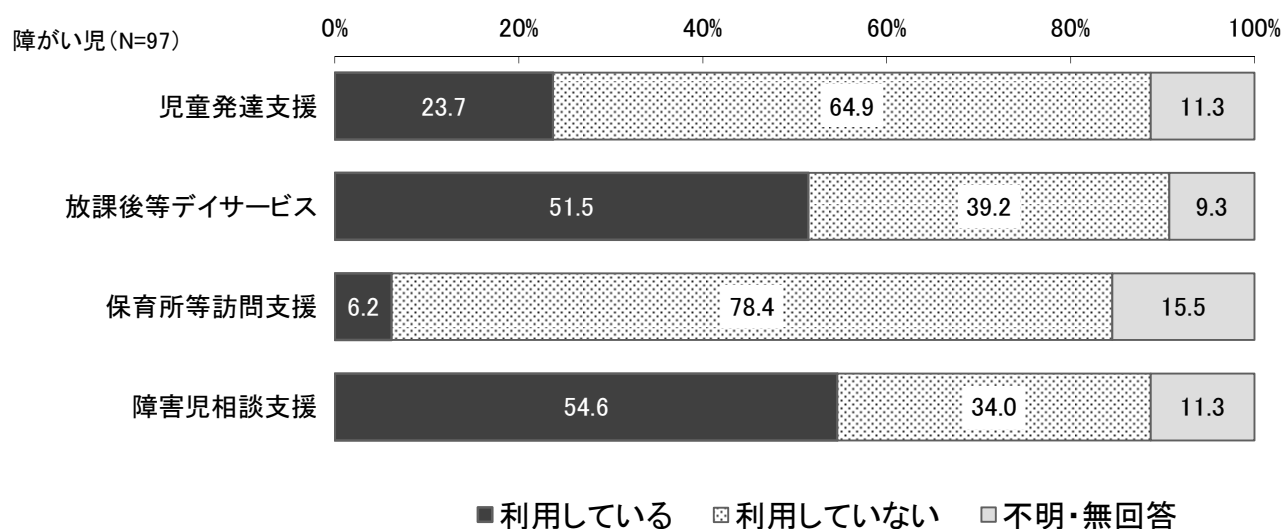
【ここからは、あて名のご本人が 18 歳未満の方のみお答えください。】

問 38 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。(それぞれあてはまるものに○)

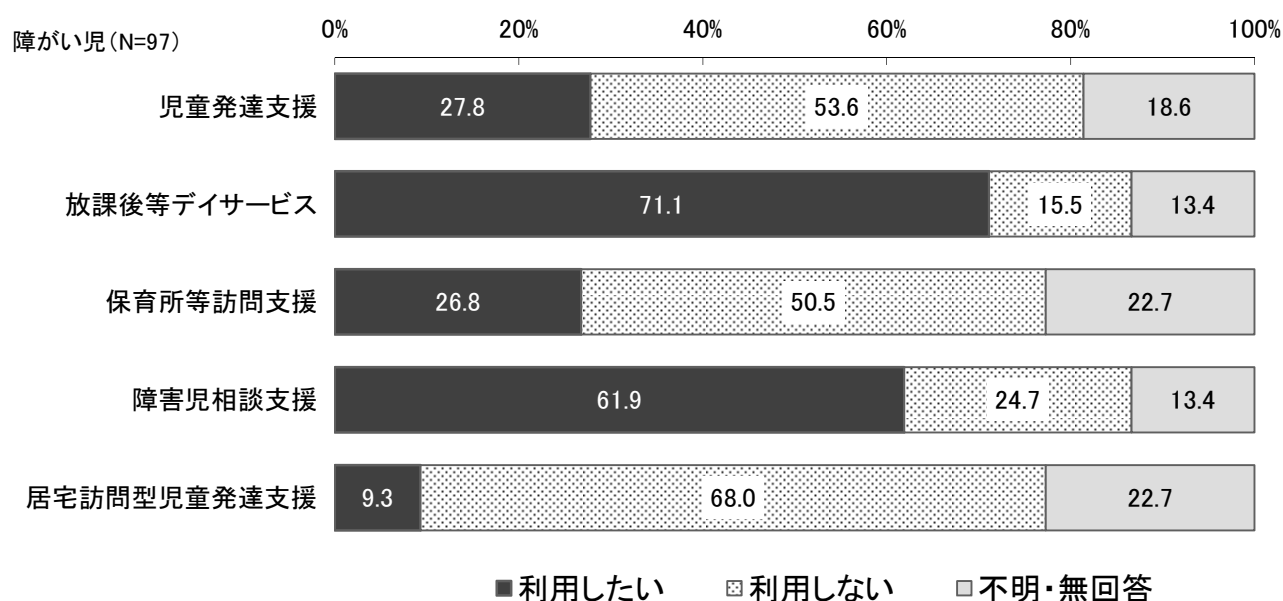
児童発達支援等のサービスの利用状況は、放課後等デイサービス、障害児相談支援で「利用している」が 50%を超え、高くなっています。

利用意向は、「利用したい」が放課後等デイサービスで 71.1%と最も高くなっています。

利用状況



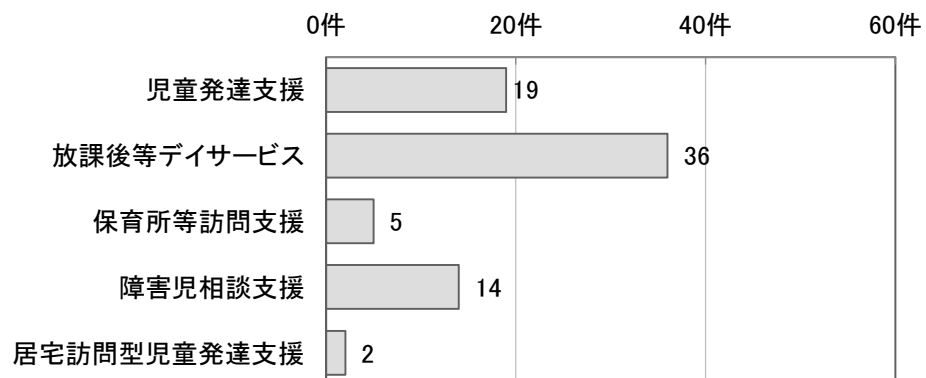
利用意向



【問 38 で1つでも「1 利用している」を選択した方がお答えください。】

問 39 現在利用しているサービスの中で、特に充実・改善してほしいものはどれですか。

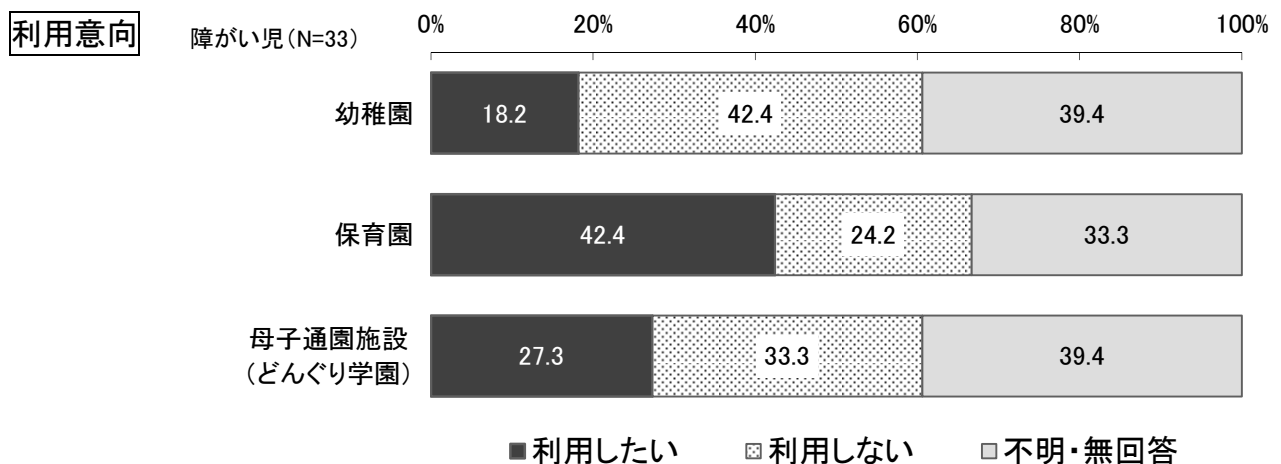
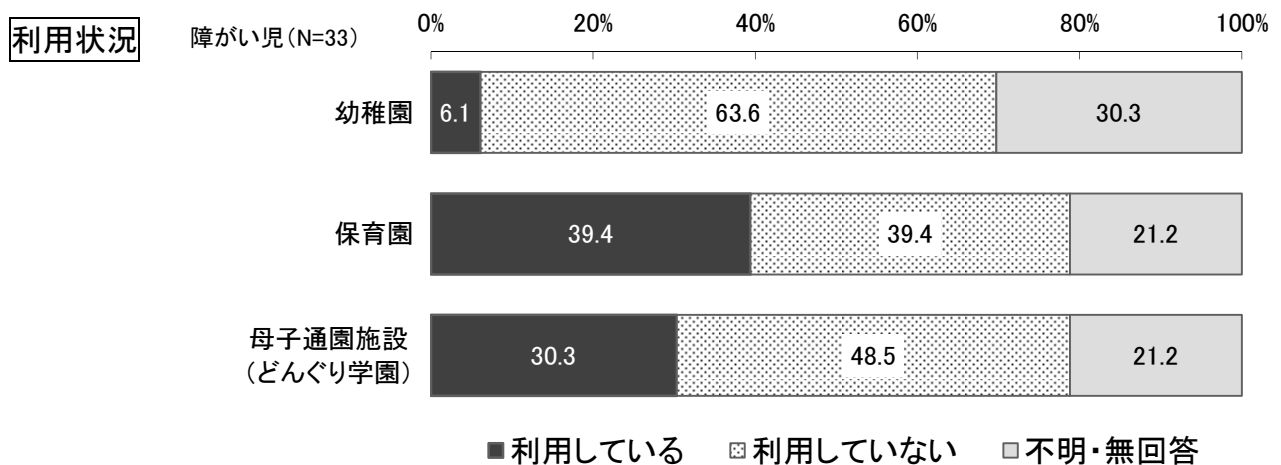
特に充実・改善してほしいサービスは、「放課後等デイサービス」で件数が多くなっています。



【問 40 は、あて名のご本人が就学前(7歳未満)の方のみお答えください。】

問 40 次の幼稚園、保育所等の施設やサービスについて、現在の利用状況と今後の利用意向をお答えください。(一行ごとにあてはまるところに○)

施設やサービスの利用状況は、母子通園施設(どんぐり学園)を「利用している」が高くなっています。利用意向は、母子通園施設(どんぐり学園)を「利用したい」が高くなっています。

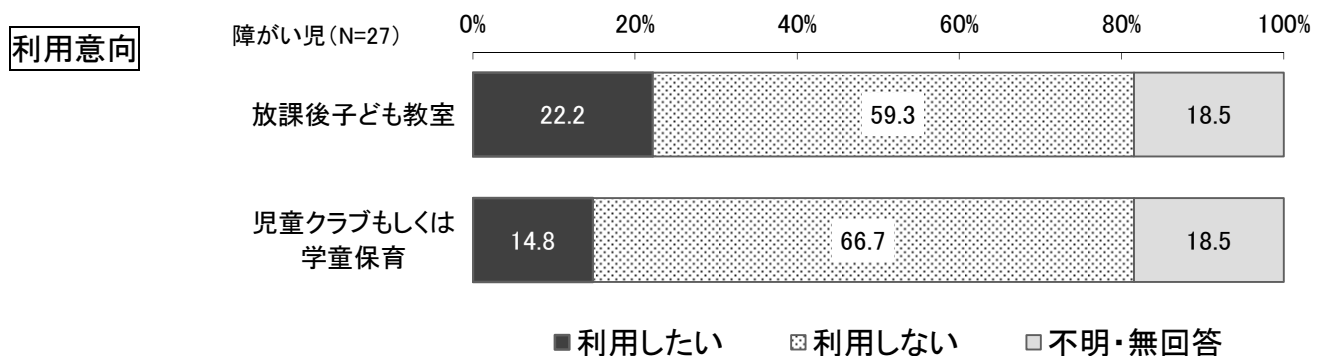
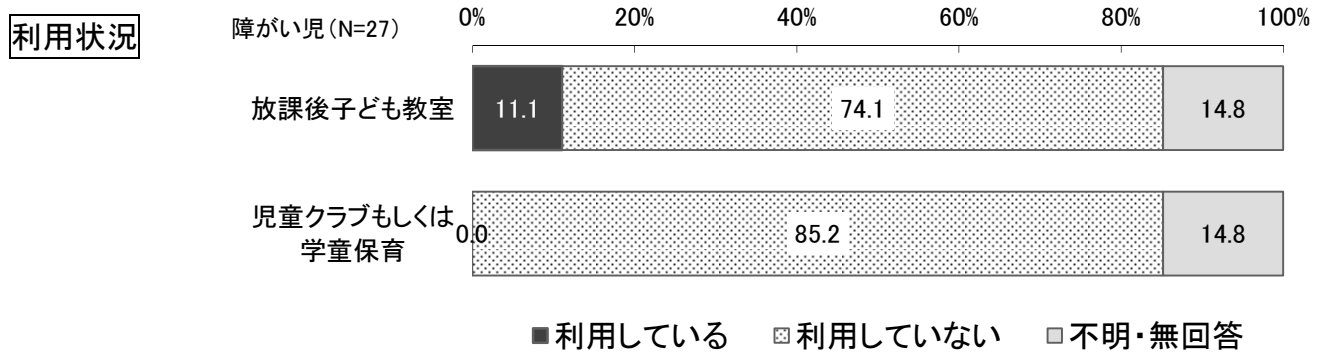


【問 41 は、あて名のご本人が小学生(7歳～13 歳未満)の方のみお答えください。】

問 41 放課後子ども教室や児童クラブ・学童保育を利用していますか。また、今後は利用したいと
思いますか。(それぞれにあてはまるところに○)

放課後子ども教室や児童クラブ・学童保育の利用状況は、いずれも「利用していない」割合が高くなっ
ており、放課後子ども教室で 11.1%となっています。

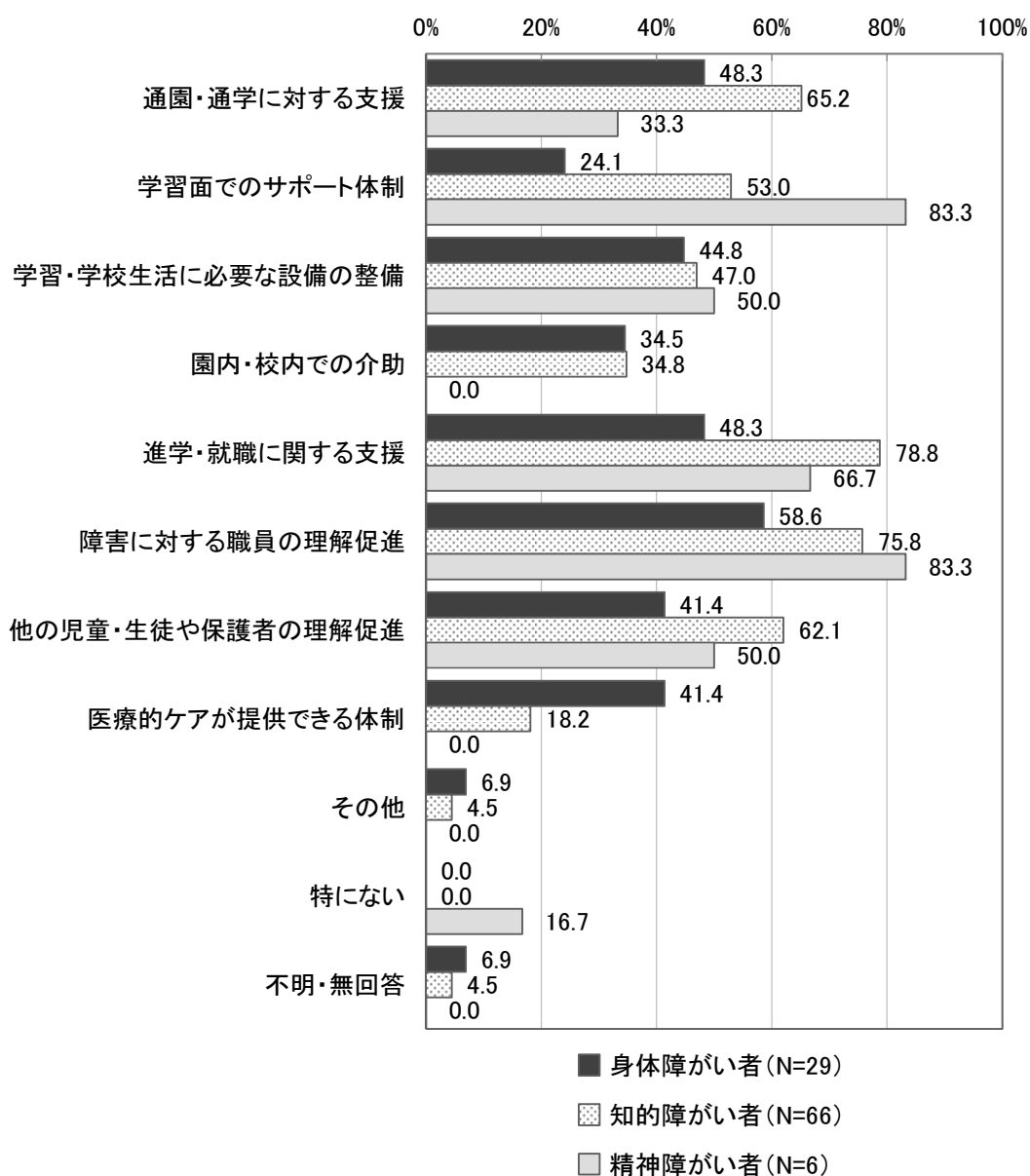
利用意向は、放課後子ども教室で 22.2%、児童クラブもしくは学童保育で 14.8%となっています。



【ここからは、あて名のご本人が 18 歳未満の方すべてがお答えください。】

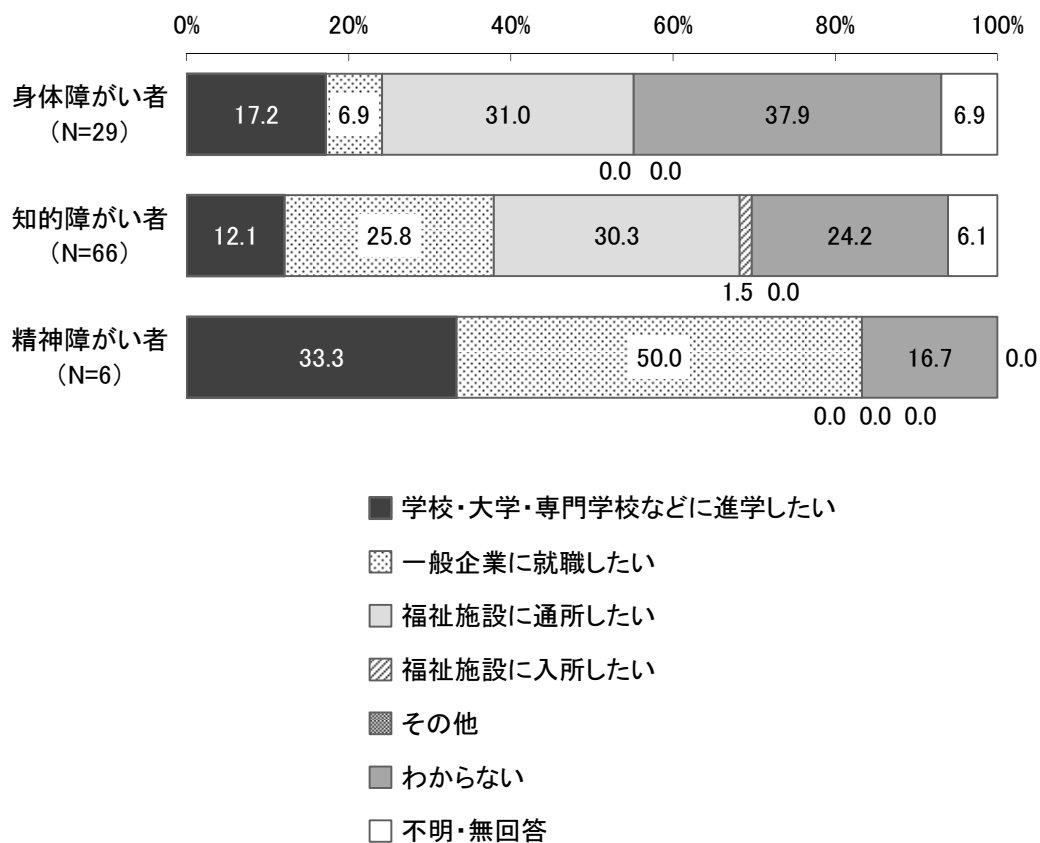
問 42 保育園や幼稚園、学校生活を送る上で充実してほしいことは、次のうちどれですか。現在学校等に通っている・いないにかかわらずお答えください。(〇はいくつでも)

保育園や幼稚園、学校生活を送る上で充実してほしいことは、身体障がい者で「障害に対する職員の理解促進」が 58.6%、知的障がい者で「進学・就職に関する支援」が 78.8%、精神障がい者で「学習面でのサポート体制」「障害に対する職員の理解促進」がそれぞれ 83.3%と、それぞれ最も高くなっています。



問 43 あなたが 18 歳になったとき、どのような進路を希望しますか。(○は1つだけ)

18 歳になったときの進路希望は、身体障がい者で「わからない」が 37.9%、知的障がい者で「福祉施設に通所したい」が 30.3%、精神障がい者で「一般企業に就職したい」50.0%と、それぞれ最も高くなっています。

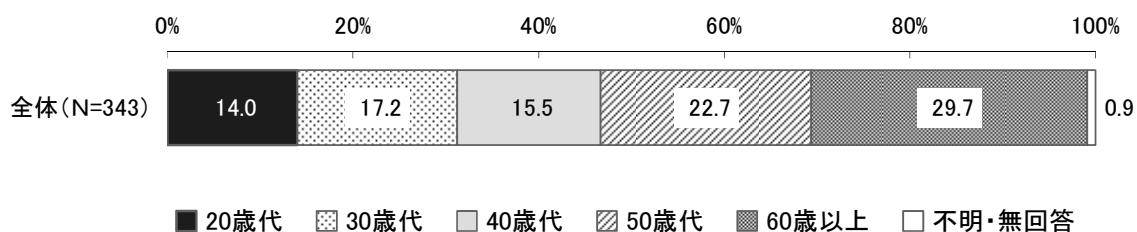


3 一般市民アンケート調査結果

(1) あなた自身のことについて

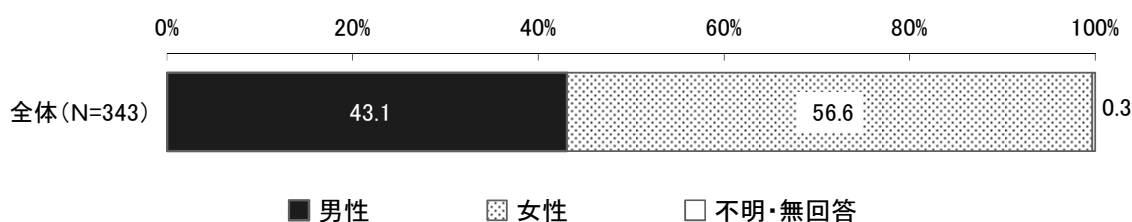
問 1 あなたの平成 29 年 8 月 1 日現在の年齢についてお答えください。(数字を記入)

アンケートの回答者の年齢は、「60 歳以上」が 29.7%と最も高く、次いで「50 歳以上」が 22.7%となっています。



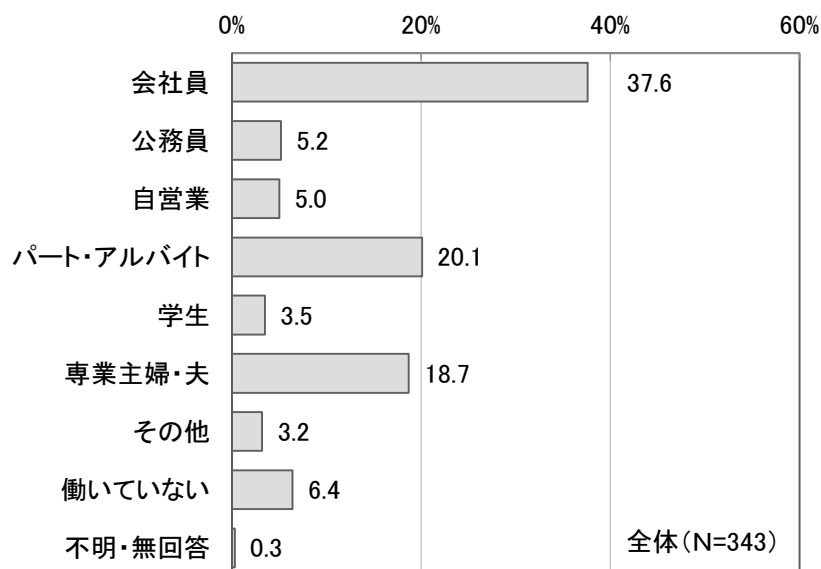
問 2 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

性別は、「男性」が 43.1%、「女性」が 56.6%となっています。



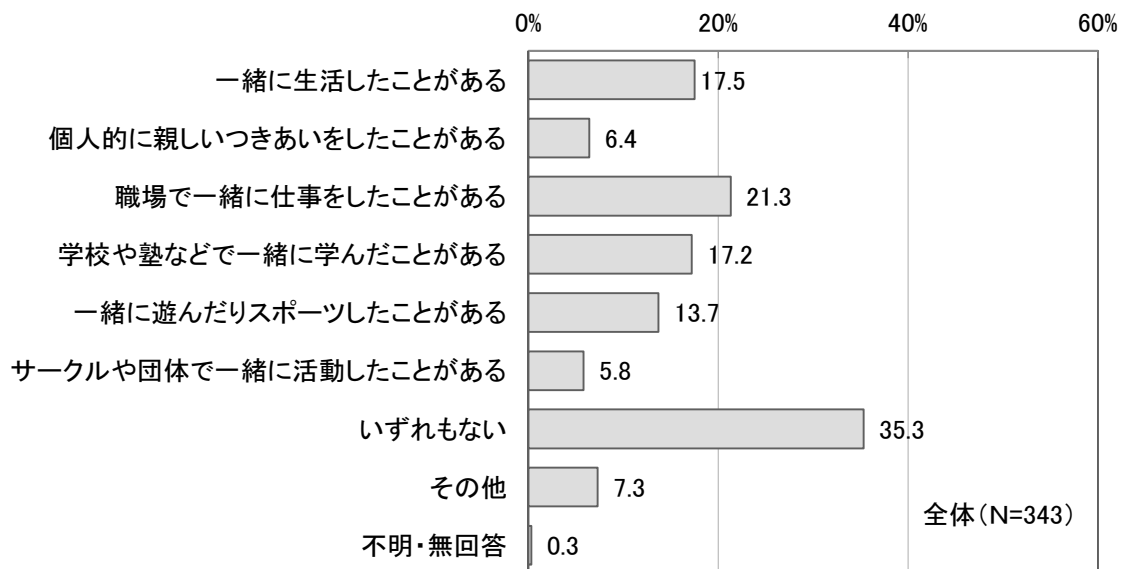
問 3 あなたのお仕事はなんですか。(○は1つだけ)

このアンケートの回答者の仕事は、「会社員」が 37.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が 20.1%となっています。



問4 あなたはこれまでに障がいのある方と一緒に暮らしたり、遊んだり、学んだり、仕事をした経験がありますか。(あてはまるものすべてに○)

障がいのある方との生活や活動の経験は、全体で「いずれもない」が35.3%と最も高く、次いで「職場で一緒に仕事をしたことがある」が21.3%となっています。年齢別にみると、20歳代で「学校や塾などで一緒に学んだことがある」が33.3%、40歳代で「職場で一緒に仕事をしたことがある」が34.0%、30歳代、50歳代、60歳以上で「いずれもない」が39.0%、41.0%、37.3%と、それぞれ最も高くなっています。

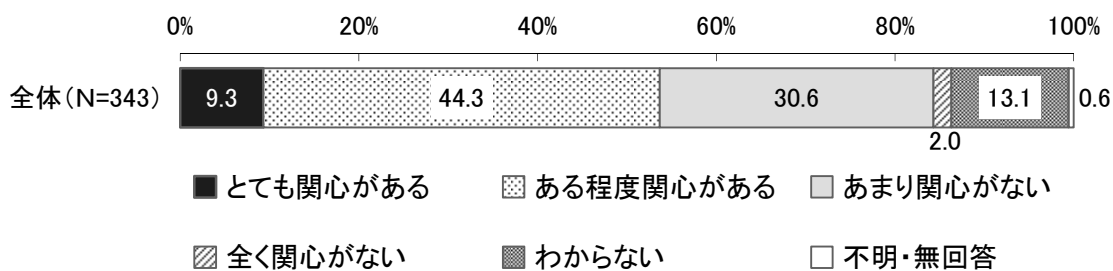


(%)

	一緒に生活したことがある	個人的に親しいつきあいをしたことがある	職場で一緒に仕事をしたことがある	学校や塾などで一緒に学んだことがある	一緒に遊んだりスポーツしたことがある	サークルや団体で一緒に活動したことがある	いずれもない	その他	不明・無回答
20歳代 (N=48)	18.8	4.2	14.6	33.3	20.8	6.3	27.1	6.3	0.0
30歳代 (N=59)	5.1	3.4	16.9	23.7	11.9	5.1	39.0	5.1	1.7
40歳代 (N=53)	13.2	3.8	34.0	24.5	15.1	1.9	28.3	7.5	0.0
50歳代 (N=78)	20.5	7.7	19.2	12.8	10.3	9.0	41.0	9.0	0.0
60歳以上 (N=102)	23.5	8.8	20.6	4.9	13.7	5.9	37.3	7.8	0.0

問5 あなたは障害者福祉に対して関心がありますか。(○は1つだけ)

障害者福祉に対しての関心は、全体で「ある程度関心がある」が44.3%と最も高く、次いで「あまり関心がない」が30.6%となっています。年齢別にみると、20歳代、30歳代で「あまり関心がない」が47.9%、35.6%、40歳代、50歳代、60歳以上で「ある程度関心がある」が50.9%、48.7%、52.0%と、それぞれ最も高くなっています。



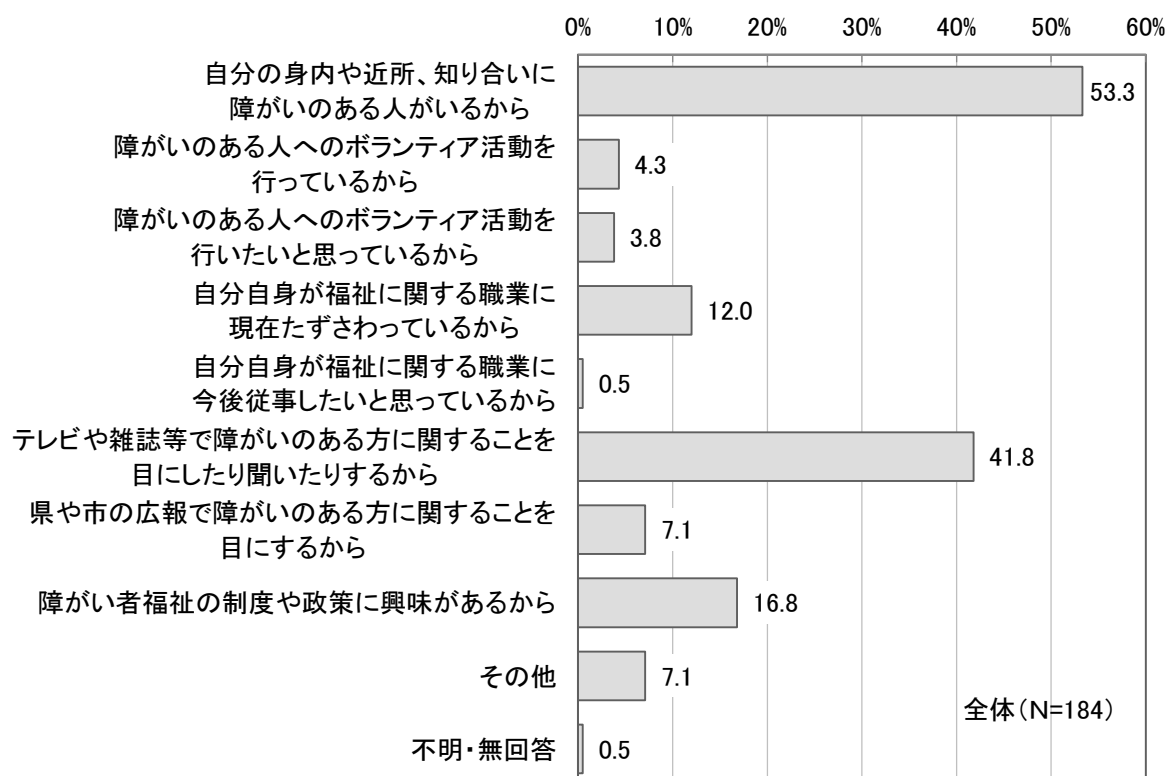
(%)

	とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	わからない	不明・無回答
全体 (N=343)	9.3	44.3	30.6	2.0	13.1	0.6
20 歳代 (N=48)	8.3	29.2	47.9	4.2	10.4	0.0
30 歳代 (N=59)	8.5	32.2	35.6	1.7	20.3	1.7
40 歳代 (N=53)	5.7	50.9	30.2	0.0	13.2	0.0
50 歳代 (N=78)	9.0	48.7	28.2	2.6	11.5	0.0
60 歳以上 (N=102)	11.8	52.0	21.6	2.0	11.8	1.0

【問 6 は、問 5 で「1」か「2」を選択した方のみお答えください。】

問 6 どのような理由から関心がありますか。(あてはまるものすべてに○)

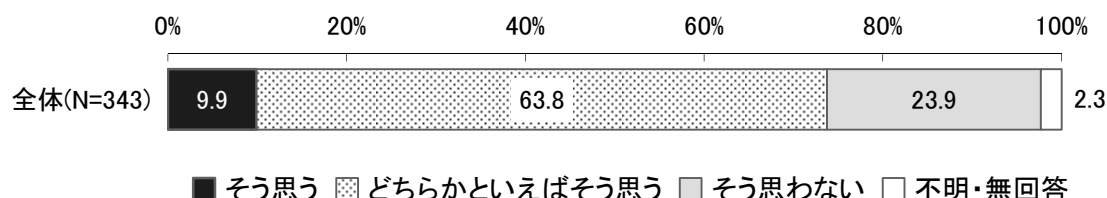
障害者福祉に対して関心がある理由は、全体で「自分の身内や近所、知り合いに障がいのある人がいるから」が 53.3%と最も高く、次いで「テレビや雑誌等で障がいのある方に関することを目にしたり聞いたりするから」が 41.8%となっています。



(2) 障がいのある方への理解や配慮について

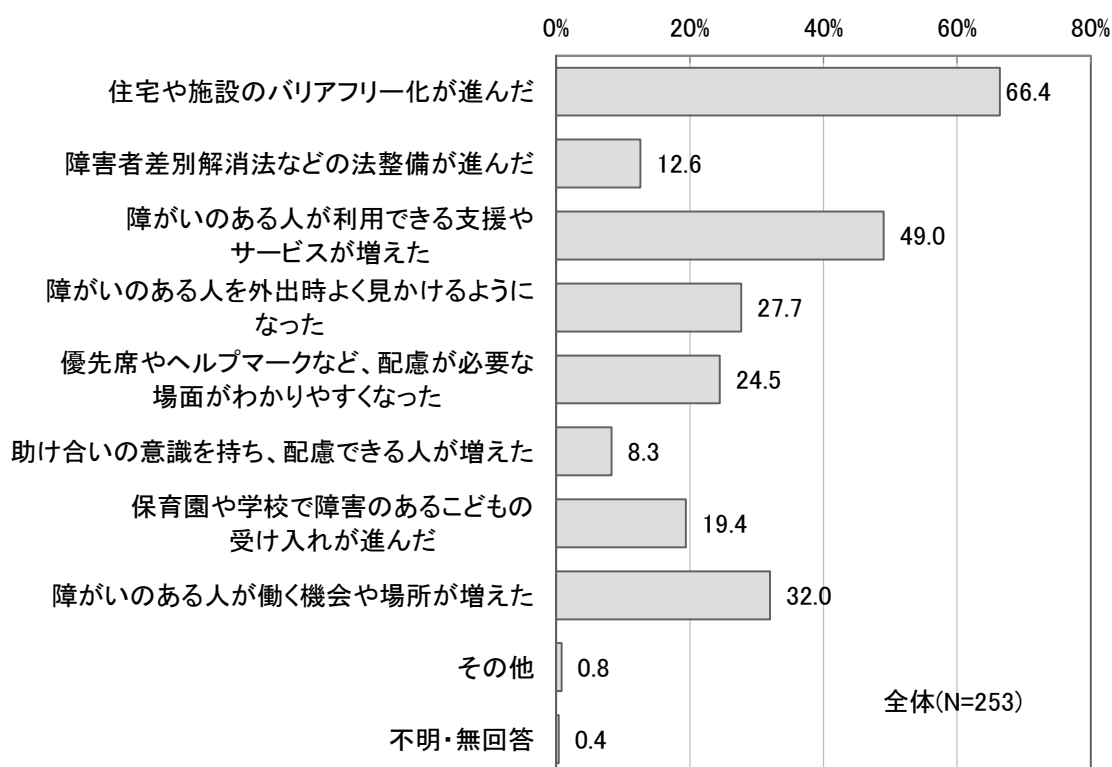
問 7 あなたは、障害のある人に対する配慮や工夫が進んできたと思いますか。(〇は 1 つだけ)

障害のある人に対する配慮等が進んできたと思うかは、全体で「どちらかといえばそう思う」が 63.8%と最も高く、次いで「そう思わない」が 23.9%となっています。



問 8 配慮や工夫が進んできたと思う具体的な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

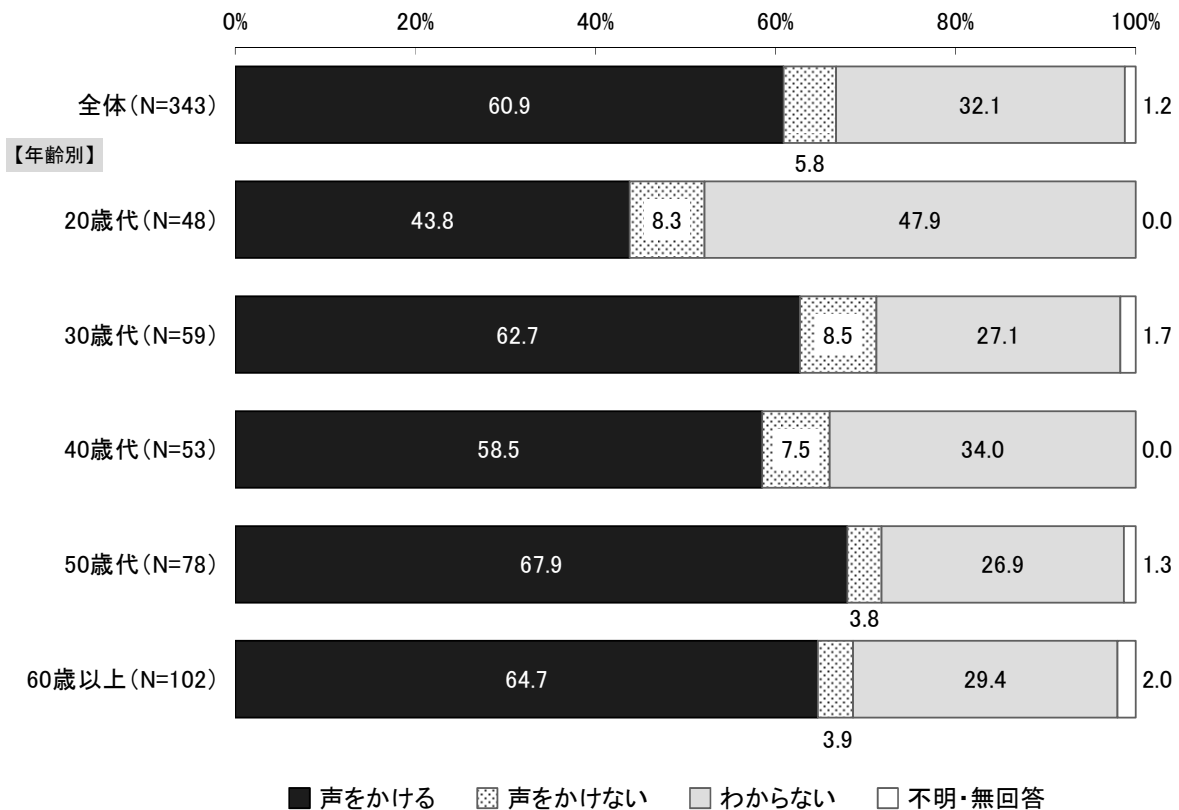
配慮や工夫が進んできたと思う具体的な理由は、全体で「住宅や施設のバリアフリー化が進んだ」が 66.4%と最も高く、次いで「障がいのある人が利用できる支援やサービスが増えた」が 49.0%となっています。



問 9 道路や街中で明らかに困っている様子の障がい者がいる時、あなたは声をかけますか。(○は1つだけ)

明らかに困っている様子の障がい者がいる時に声をかけるかは、全体で「声をかける」が60.9%と最も高く、次いで「わからない」が32.1%となっています。

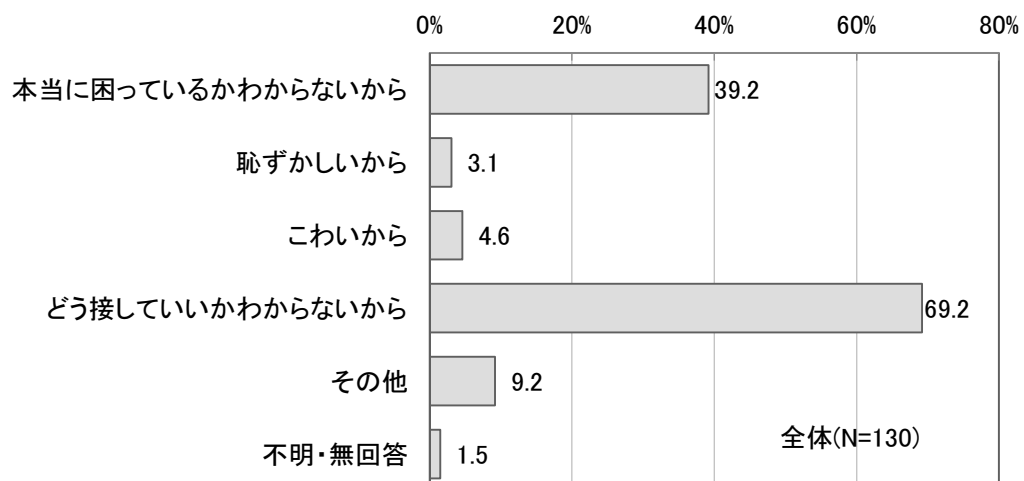
年齢別にみると、20歳代で、「わからない」が47.9%、30歳代、40歳代、50歳代、60歳以上で「声をかける」がそれぞれ62.7%、58.5%、67.9%、64.7%と、最も高くなっています。



【問 10 は、問 9 で「2」を選択した方のみお答えください。】

問 10 声をかけない理由として何が考えられますか。(○はいくつでも)

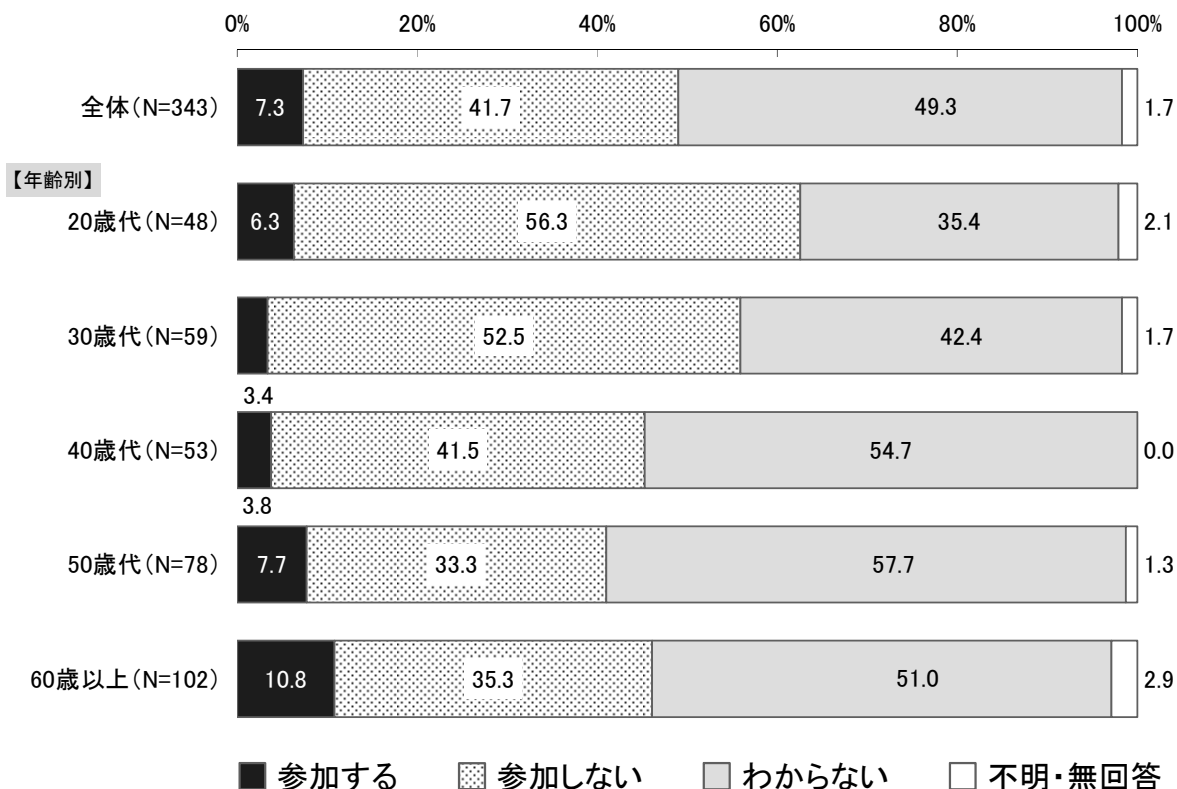
声をかけない理由は、全体で「どう接していいかわからないから」が69.2%と最も高く、次いで「本当に困っているかわからないから」が39.2%となっています。



問 11 あなたに特別な予定がない日に障がいに関する講演会や障がいのある方との交流イベントがあったら参加しますか。(〇は 1 つだけ)

特別な予定がない日に障がいに関する講演会等があったら参加するかは、全体で「わからない」が 49.3%と最も高く、次いで「参加しない」が 41.7%となっています。

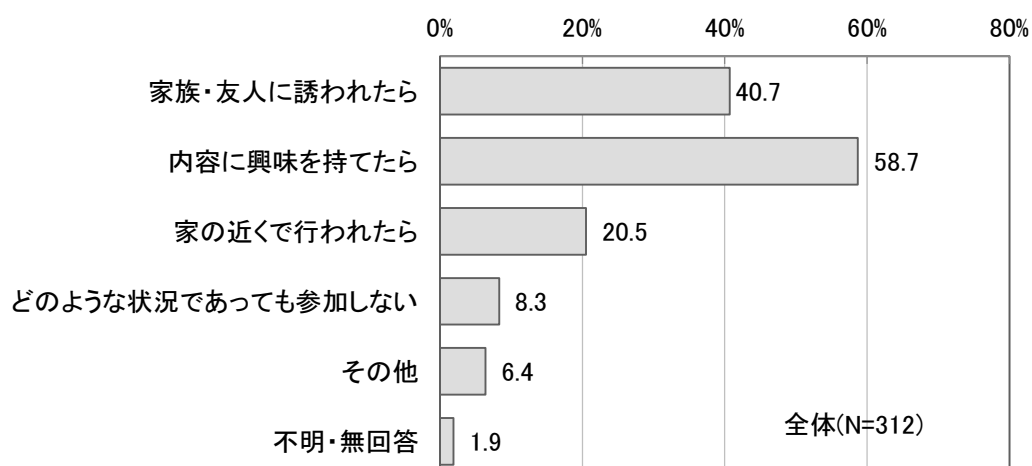
18 歳未満で、20 歳代、30 歳代で「参加しない」がそれぞれ 56.3%、52.5%、40 歳代、50 歳代、60 歳以上で「わからない」が 54.7%、57.7%、51.0%と、それぞれ最も高くなっています。



【問 12 は問 11 で「2」を選択した方のみお答えください。】

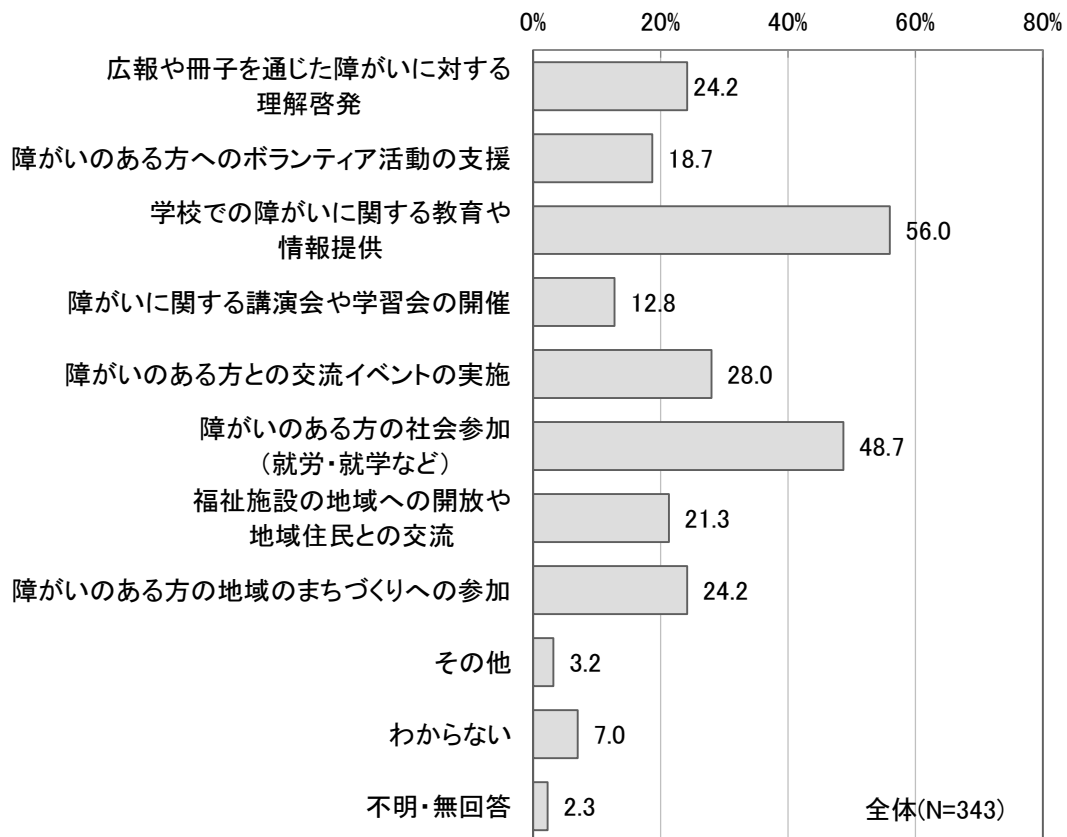
問 12 どのような状況だったら参加しますか。(〇はいくつでも)

どのような状況だったら参加するかは、全体で「内容に興味を持てたら」が 58.7%と最も高く、次いで「家族・友人に誘われたら」が 40.7%となっています。



問 13 障がいのある方に対して市民の皆さまの理解を深めるために必要だと思うことは何ですか。（〇はいくつでも）

障害のある方に対して理解を深めるために必要だと思うことは、全体で「学校での障がいに関する教育や情報提供」が56.0%と最も高く、次いで「障がいのある方の社会参加（就労・就学など）」が48.7%となっています。



問 14 あなたは地域社会の中で、障がいがあることを理由とする差別があると思いますか。（〇は1つだけ）

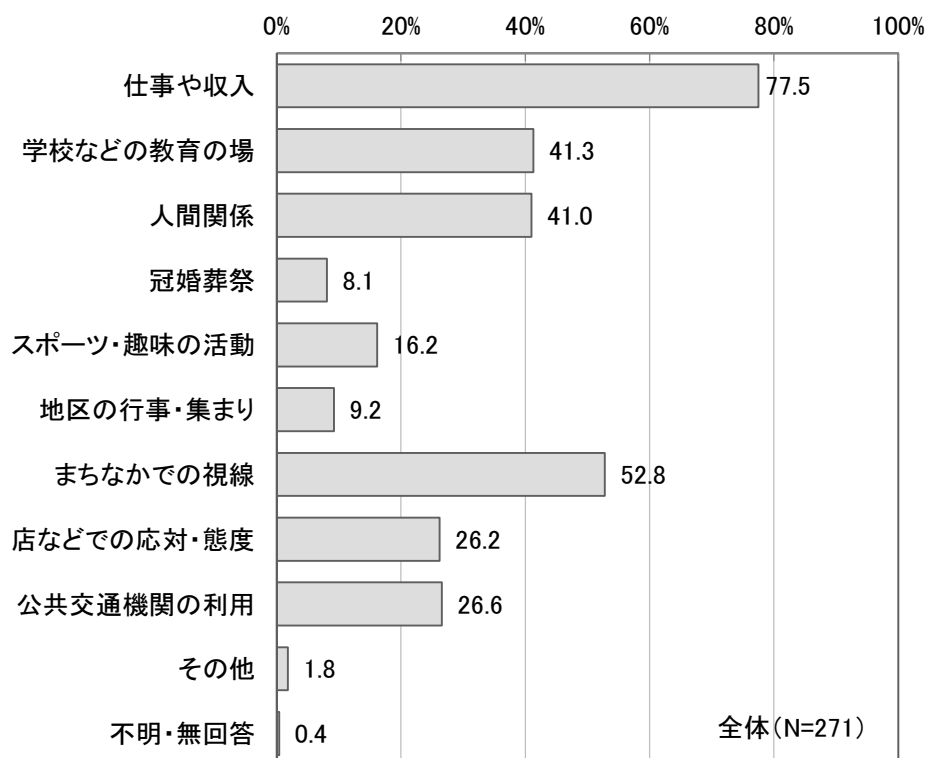
地域社会の中で障がいがあることを理由とする差別があると思うかは、全体で「ある」が79.0%、「ない」が15.5%となっています。



【問 15 は、問 14 で「1 ある」を選択した方のみお答えください。】

問 15 どのような場面で差別があると感じますか。(あてはまるものすべてに○)

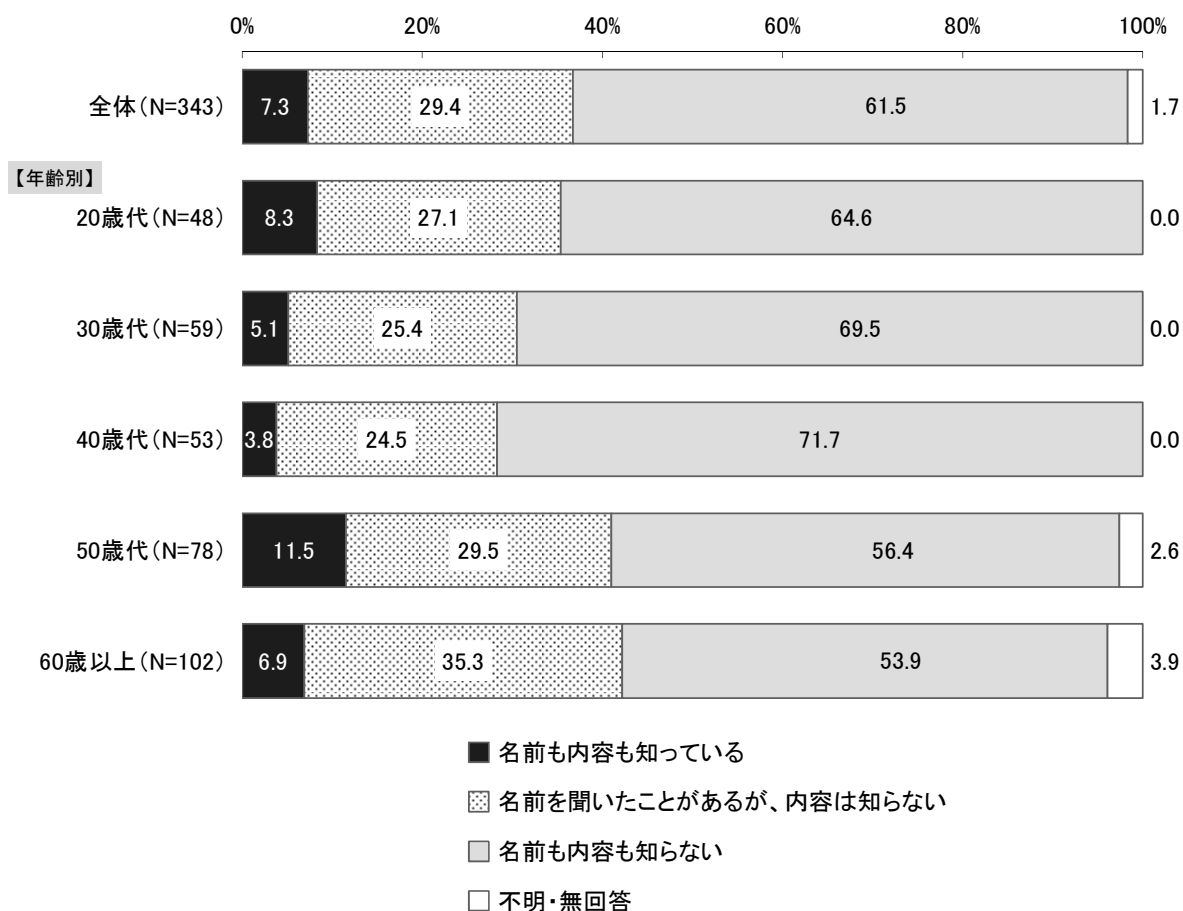
どのような場面で差別があると感じるかは、全体で「仕事や収入」が 77.5%と最も高く、次いで「まちなかでの視線」が 52.8%となっています。



問 16 平成 28 年 4 月より「障害者差別解消法」が施行されています。「障害者差別解消法」とは、「不当な取扱い」と「合理的考慮をしないこと」が差別であると定めた法律のことです。「障害者差別解消法」について知っていましたか。(〇は 1 つだけ)

「障害者差別解消法」について知っていたかは、全体で「名前も内容も知らない」が 61.5%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 29.4%となっています。

年齢別にみると、20 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳以上のすべての年代で「名前も内容も知らない」がそれぞれ 64.6%、69.5%、71.7%、56.4%、53.9%と、それぞれ最も高くなっています。

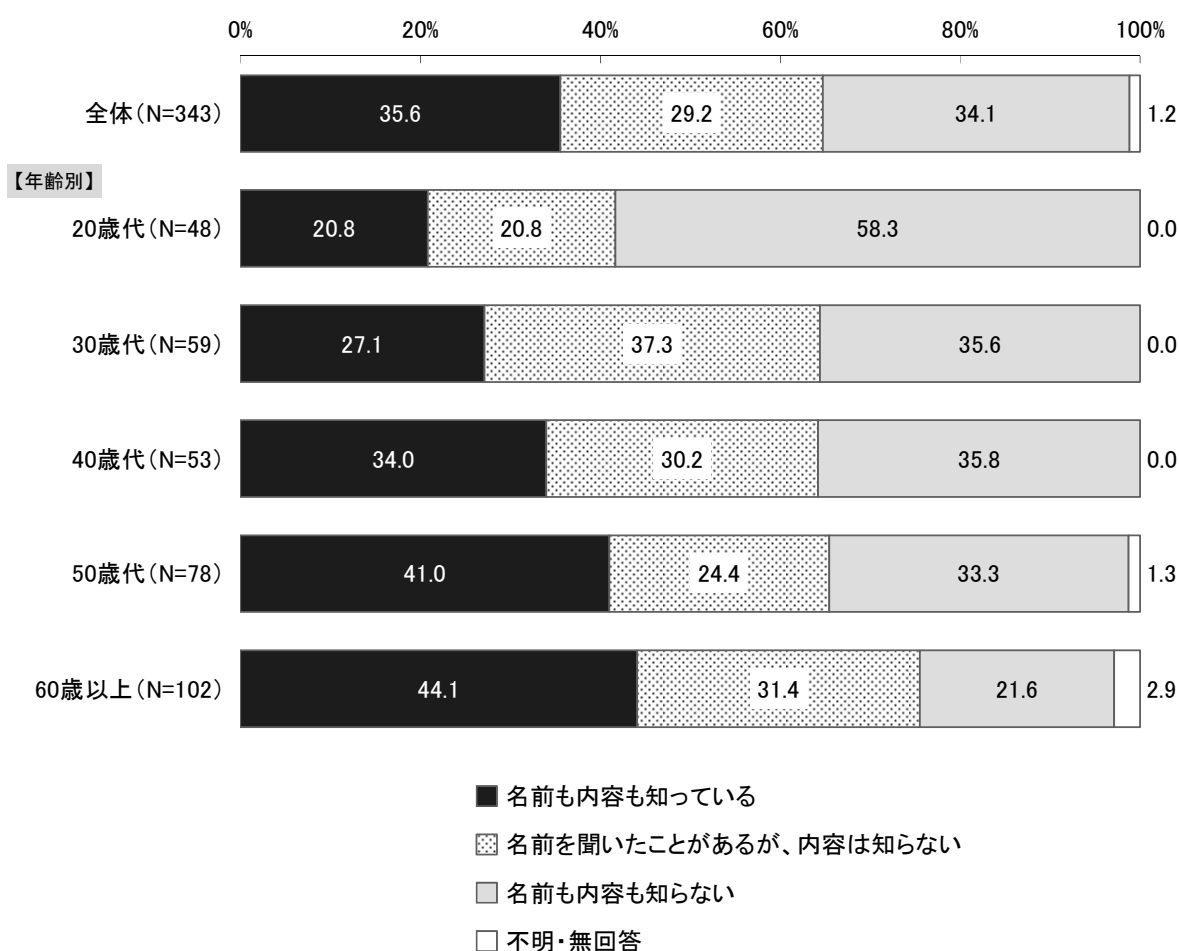


(3) 障がい者の権利を守る制度について

問 17 成年後見制度についてご存じですか。(〇は 1 つだけ)

成年後見制度について知っているかは、全体で「名前も内容も知っている」が 35.6%と最も高く、次いで「名前も内容も知らない」が 34.1%となっています。

年齢別にみると、20 歳代、40 歳代で「名前も内容も知らない」がそれぞれ 58.3%、35.8%で、30 歳代で「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 37.3%、50 歳代、60 歳以上で「名前も内容も知っている」が 41.0%、44.1%と、それぞれ最も高くなっています。



問 18 平成 24 年 10 月より「障害者虐待防止法」が施行されました。「障害者虐待防止法」について知っていましたか。(〇は 1 つだけ)

「障害者虐待防止法」について知っていたかは、全体で「名前も内容も知らない」が 59.8%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 29.4%となっています。

年齢別にみると、20 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳以上のすべての年代で「名前も内容も知らない」がそれぞれ 64.6%、64.4%、67.9%、61.5%、50.0%と、それぞれ最も高くなっています。

